建築ト社會

第五輯　第五号



無韻の旋律
――「若葉の曲」――

大正十年　五月一日

日本建築協會

日本建築協會會則

第一條　本會ノ目的ハ我國建築界ノ堅實ナル發展ヲ期スルニ在リ

第二條　本會ハ日本建築協會ト稱ス

第三條　本會ハ事務所ヲ大阪市ニ置ク

地方ニ支會ヲ設クルコトヲ得

第四條　本會ハ人格、學識、經驗アル建築家ヲ以テ會員トシ會員ノ氏名住所ハ會員名簿ニ之ヲ記錄ス

會員タラムト希望スル者ハ會員五名以上ノ紹介ヲ以テ入會希望書及履歷書ヲ本會ニ提出スヘシ其諾否ハ理事會ニ於テ議決ス

第五條　本會ハ其目的ヲ贊成シ事業ヲ援助スル者ヲ贊助員トス

贊助員ヲ分チテ左ノ四種トス

一　名譽贊助員―地位又ハ學識アル名望家

二　終身贊助員―金參百圓以上又ハ之ニ相當スル物件ヲ本會ニ寄附スル篤志家

三　特別贊助員―建築ニ關聯スル特種ノ技術家又ハ事業家

四　普通贊助員―建築ニ關係又ハ趣味ヲ有スル者

贊助員ノ氏名住所寄附ノ金額又ハ物件ハ各贊助員名簿ニ之ヲ記錄ス

第六條　名譽贊助員ハ例會ノ決議ニ依リ本會之ヲ推薦ス

終身贊助員タラムトスル者ハ會員貳名以上ノ紹介ヲ以テ申込書及寄附ノ金額又ハ物件ヲ本會ニ提出スベシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

特別贊助員タラムトスル者ハ會員二名以上ノ紹介ヲ以テ申込書及履歷書ヲ本會ニ提出スベシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

普通贊助員タラムトスル者ハ會員ノ紹介ヲ以テ申込書ニ提出スベシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

第七條　會員ハ會內ニ於ケル其資格ニ關スル權利ヲ享有ス

會員ハ會內ニ於ケル其資格ニ關スル權利ヲ享有ス

名譽贊助員ハ本會ノ優遇及第十九條ニ基キ相當ノ利得ヲ受ク

終身贊助員、特別贊助員及普通贊助員ハ第十九條ニ基キ會誌ノ配布其他各相當ノ利得ヲ受ク

第八條　會員ニシテ脫會セムトスル者ハ其旨ヲ本會ニ申込ムベシ

前項ノ規定ハ贊助員ニ之ヲ準用ス

第九條　本會ハ會員ニシテ本則ノ規定ニ違背シ又ハ本會ノ名譽ヲ汚スノ行爲アリト認メラルヽ者ニ對シ理事會ノ決議ヲ經テ其權利ヲ停止シ若ハ之ニ脫會ヲ勸告シ又ハ例會ノ決議ヲ經テ之ヲ除名スルコトヲ得

前項ノ規定ハ贊助員ニ之ヲ準用ス

第十條　脫會其他ノ事由ニ因リ會員ダルノ資格ヲ失セラルル者ハ既納會費ノ返還ヲ求メ又ハ其債務ヲ免ガルヽコトヲ得ズ

前項ノ規定ハ贊助員ニ之ヲ準用ス

第十一條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一　會頭　一名

二　副會頭　一名

三　理事長　一名

四　理事　十名（理事長ヲ含ム）

會頭ハ會務ヲ總監シ本會ヲ代表ス

副會頭ハ會頭ヲ補佐シ會頭事故アルトキ其職務ヲ代理ス

理事長ハ會務ヲ總理シ會頭、副會頭事故アルトキ其職務ヲ代理シ理事會ヲ代表ス

理事ハ會務ヲ處理シ理事長事故アルトキ理事會ノ決議ニ依リ其職務ヲ代理ス

第十二條　役員ハ會員中ヨリ例會ニ於テ之ヲ選擧ス但會頭、副會頭ハ名譽贊助員中ヨリ之ヲ選出スルコトヲ得

理事長ハ理事ノ互選ス

但シ理事長ニ付テハ一年トス

役員ノ任期ハ二年トス

理事ノ改選ハ每年半數トス但引續キ重任スルコトヲ得ズ

第十三條　本會ニ左ノ職員ヲ置ク

一　主事　一名

二　主計　一名

三　編輯　三名

四　編輯補　若干名

五　書記　若干名

主記ハ庶務ヲ、主計ハ會計ヲ、編輯ハ編纂ヲ處理ス

編輯補ハ編輯ノ旨ヲ受ケ編纂ヲ分掌ス

書記ハ理事長、理事ノ命ヲ受ケ會務ニ從事ス

第十四條　主記、主計、編輯ハ理事之ヲ互選ス

書記ハ理事會之ヲ任命シ有給トス

編輯補ハ會員中ヨリ理事會之ヲ指名ス

第十五條　本會ハ調査研究ノ必要ニ應シ例會ノ決議ニ依リ各部ノ委員會ヲ設ケ各部ニ委員長一名委員若干名ヲ置ク

委員長及委員ハ會員中ヨリ理事會之ヲ指名シ委員長ハ當該委員ヲ統理ス

理事會ハ特殊事項ニ關シ會員外ノ專門家ヲ臨託委員トナスコトヲ得

第十六條　委員長ハ當該委員會ヲ代表シ委員長事故アルトキハ當該委員會ノ決議ニ依リ委員其職務ヲ代理ス

委員會ノ經過ハ例會ニ於テ之ヲ報告ス

委員會ノ調査研究報告ハ例會ノ決議ヲ經ヲ本會ノ名ヲ以テ之ヲ發表ス但シ緊急事項ニ付テハ理事會ノ承認ヲ經テ當該委員會ノ名ヲ以テスルコトヲ得

第十七條　本會ハ每月一回會員ヲ召集シ例會ヲ開キ重要事項ヲ審議シ報告會、談話會、討論會又ハ講演會ヲ催ス但理事會ハ必要ト認ムルトキハ臨時之ヲ開催スルコトヲ得

例會ニ於ケル議案其他ノ事項ハ理事會之ヲ會員ニ豫告ス但緊急事項ニ付テハ此限ニ在ラズ

第十八條　本會ハ春秋二季大會ヲ擧行ス

第十九條　本會ノ行フ事業左ノ如シ

一　建築ニ關スル諸般事項ノ調査研究

二　建築ニ關スル重要事項ノ議決

三　建築事項ノ實行促進

四　會誌ノ發刊

五　建築ニ關スル圖書ノ刊行

六　建築ニ關スル講演會ノ開催

七　建築ニ關スル展覽會ノ公開

八　建築ニ關スル視察

九　理想的建築ノ計畫

十　其他建築ニ關シ有志者ノ親睦會

十一　第二十條　會員ハ會費年額金拾八圓ヲ本會ニ醵出ス

但例會ニ出席シ難キ地方ニ在ル會員ノ會費ハ半額トス

一時ニ金貳百圓以上ヲ出ストキハ爾後前項ノ會費ヲ免ル

會員タルノ承認ヲ得タル者ハ入會金五圓ヲ本會ニ納付スベシ

特別贊助員ハ特別贊助員年額金五圓ヲ、普通贊助員ハ普通贊助費年額金六圓ヲ前納スベシ

但六箇月以內ニ之ヲ分納スルコトヲ得

第二十一條　本會ノ經費ハ會費入會金寄附金贊助員其他ノ收入ヲ以テ支辨ス

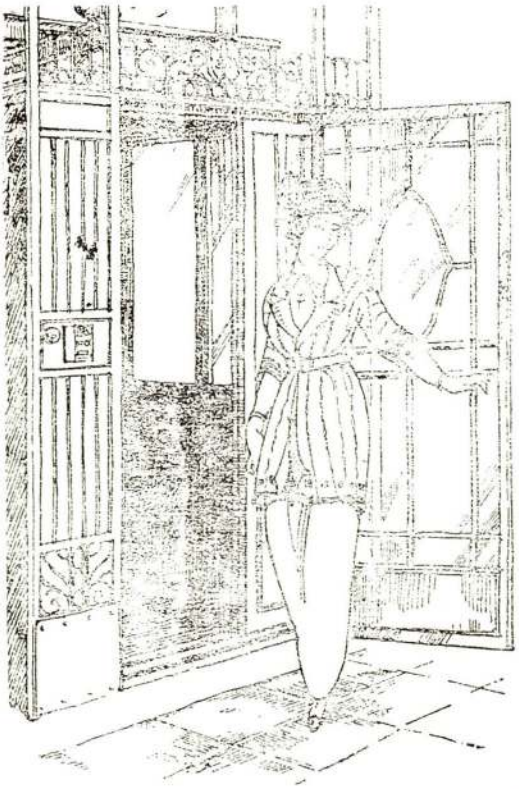
本會ノ財產ハ理事長之ヲ監理ス

第二十二條　本會ノ財產ハ債權債務及每月ノ收支ハ主計其計算書ヲ作リ翌月理事會ニ報告ス

本會ノ財產債權債務及每年ノ收支ハ理事會ニ其決算書ヲ作リ翌年一月例會ニ於テ報告ス

第二十三條　本會及本則ニ關スル詳細ノ事項ハ例會ノ決議ニ依リ細則ニ之ヲ定ム

第二十四條　本則ハ例會ノ決議ニ依リ之ヲ變更スルコトヲ得



大阪市東區中道川西町五百六十一番地　電話南三八〇五番

日本エレベーター製造株式會社

營業種目

エレベーター、リフト　試運轉各種
コンベヤー　高能率保安設備
捲上機械　クレエン　堆積實驗
架空索道及諸機械
右設計及製作

出張所　東京市丸之內東京驛前海上ビルヂング六階、六一九號、六二〇號室　電話丸之內九八〇番
本局二一〇二番

特約販賣店　東京市麹町區永樂町　高田商會　本支店出張所

代理店　大連市山縣通百番地　日米公司　電話二二七〇・二〇四五番

代理店　朝鮮京城府長谷川町八十五番地　日米公司　電話二五三〇番



建築と社會　第四輯第五號目次

▲口繪……（無韻の旋律「若葉の曲」（表紙三色版）
大阪市新市廳舍正面（寫眞版）
大阪市新市廳舍側面（寫眞版）

〔卷頭〕

○建築は凍れる音樂也……

〔論說〕

○住宅改良問題と新時代の婦人……會員　工學士　橫濱　勉……二
○近代日本建築の印象……會員　エトウイン・バンタ……六
○建築工事の施行と實費計算制設（下）……會員・建築士　小笠原　鋠……九
○火災保險と建築（其二）……會員　長田岩次郎……一二

〔研究〕

○ボルトランドセメントの成分及び其硬化に伴ふ變化に就て（1）……工學博士　細本松之介……一七

〔都市〕

○將來の市加古市（12）……ジオルター・ディ・ムウデイ著　ZY生譯……二四

〔住宅〕



○住心地良き居室（上）……京都大學院・醫學士・竹山九郎・三三

〔講　壇〕

○煉瓦屋より觀たる米國の建築材料(B)……大阪窯業株式會社支配人・工學士・谷口德政・三九

〔業　界〕

◎我等は進歩的理解力の所有者たらねばならぬ……土木建築業合名會社山本組代表者・山本辰五郎・四三

〔資　料〕

○英國住居法(三)……大阪市都市計畫部囑託・石原憲治・四六

○『借家法』と建築法規（上）……郊・邨・五〇

〔漫　錄〕

○原稿紙に象徴する生活……EKS・五六

——「原稿生活物語」の三——

○趣味化されたる室内裝飾(下)……吉村美代子・六一

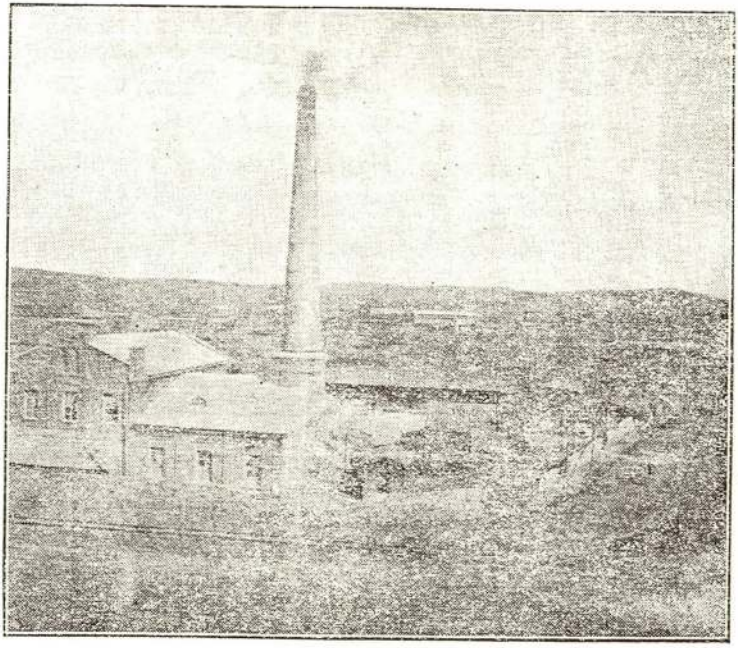
○大福餅と運轉手の要求……いす生・六七

○蒙求俳句と詠史……蘆田秋双・六八

□相談室　□時報　□會報

現代建築界ノ最高權威

關東廳土木課・南滿鐵道會社・大阪府廳・市役所
其他諸官省・有力土木建築設計家各位・實驗證明



顧問技師　工學士　雨宮春雄

相談役　前野芳造

營業目課

滿州產

青色大理石、黑色大理石
鹿兒島產白色硅藻土
白色硅石及硅石粉、酸化マグネシユーム粉末、滿蒙セメント各種、雜礦石
海水石鹼

鋪床材料

耐火リノリウム（專賣特許出願中）

耐水、衛生、保溫、美觀、低廉

土木建築用防水劑

ボースイ（專賣特許出願中）

品質內外品ニ優リ價格低廉

滿蒙化學研究所代理店

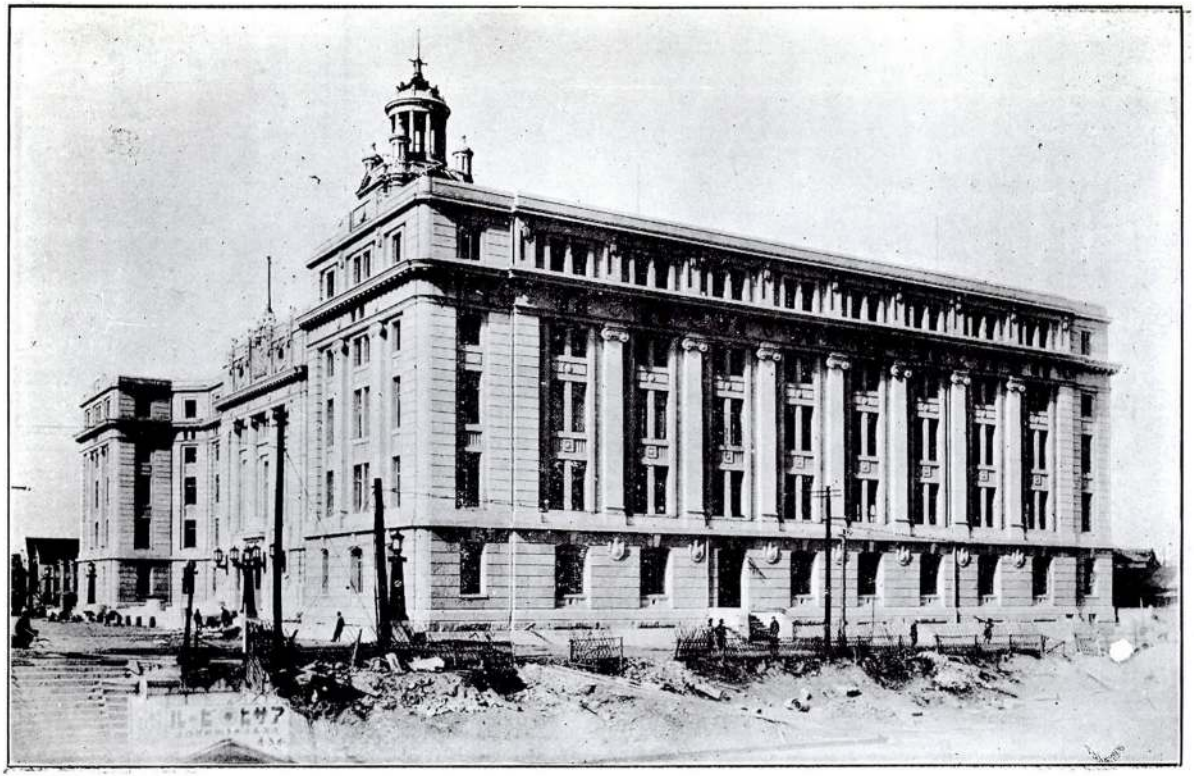
大阪市北區南安治川一丁目十三番地

大阪耐火リノリウム工業合資會社

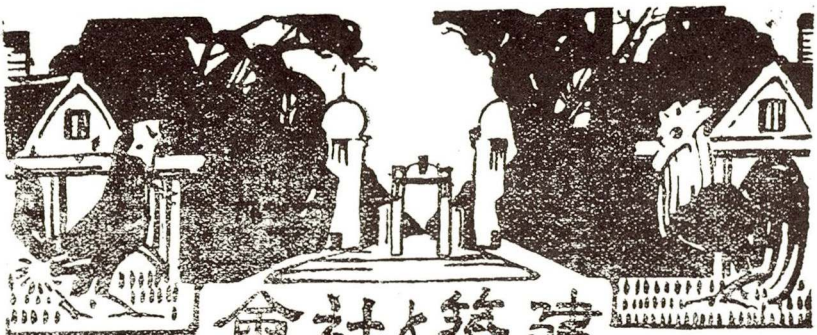
電話西（營業用）四五九
長二五五四
三六三三



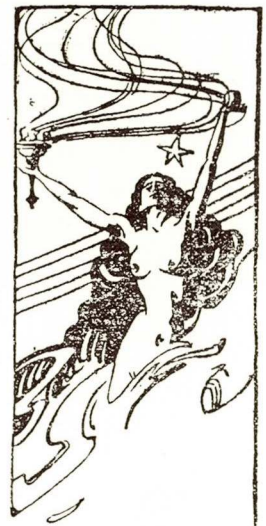
大阪市新市廳舍正面



大阪市新市廳舍側面



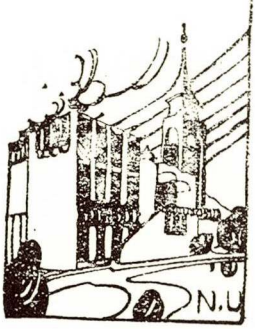
建築は音樂の凍れるものなり



論說

住宅改造問題と新時代の婦人

會員　工學士　横濱　勉



□社會改造の機運と婦人覺醒の促進

千九百十四年から千九百十八年に亘る戰亂からこの方、歐米の國々では凡ゆる方面に改造の機運は動いて來て、社會萬般の事は何にまれ新方面に向つて更らに一歩を進めねば承知が出來ぬ樣になつて來た。

戰前と戰後に於て各國とも隔世の感があるのである。政治上とか軍事上とかに關する事柄は姑らく措き、生活上に關して、其改善に努力しつゝあることは偉大なるものであつて、英國の如きは、生活改善は國力充實の根本解決である、といふ主張を有つて居る。

各國に於ても大同小異であつて、戰後恢復の一日も早からん事を相競ふてゐる。從つて科學應用の徹底的に普及されてあゝ事は想像以上で、社會各般の革新の速かなることを吾人をして對岸の火災視を許すこと出來ぬやうになつて來た。

近年我國に於ても、社會改造、生活改善の問題が勃興して來たことは、世界の大勢に順應する上

に於て當然の趨勢と言はねばならぬ。婦人問題に關しても、多方面に進展を見る樣になつて來たことは、盛に助成すべく且つ歡迎す可き新機運といはねばならぬと思ふ。

生活改善問題に關しても、婦人に依つて新方面を開拓しなければならぬ懸案も多々あることで、住宅の改造などもその一つたるを失はぬ。

我國の婦人は、歐米の婦人に比較して、其常識の圓滿なる發達が缺けてゐる樣に思はれる。是は數百年來の歷史の持ち越せる惰力であつて、頗る悲む可き過去を有して居るのである。

殊に我國婦人の一般的缺陷としては、科學的應用力の進歩せぬことであると思ふ。是は婦人に對する家庭や學校の取扱は時代の趨勢と並行を得なかつた爲に、餘りに靜淑本位に偏して活動本位の敎養を缺いだ爲である。勿論、その何れに偏しても、弊害は自から有るであらう。併し新時代の婦人は活動本位で立たねばならぬことを斷言する。

今日、世界相競ふて革進せむとする機運に際會して、特に我が婦人界の覺醒を促し、且つ社會的方面に努力せんことを切に希ふものである。

□住宅改造の立場より
見たる新時代の婦人

男子には男子の固有性があるし、女子には女子のそれがあつて、そこに自然の差別がある。

生活問題は各自本能を離れて滿全な解決を望むべきでない。生活改善、住宅改造の上にも、男女各別に依つて完全なる解決は望み得べからざる事であつて、兩々相俟つて其事に膺らねばならぬのである。予は、生活改善に方つて、男子も婦人も對等の立場から努力せねばならぬと信ずる。

歐米各國の實例に徵するに、彼の戰亂の後に於て、社會改造問題に關し、婦人の活躍は頗る見るべきもの多い。住宅改造に於ても亦然りである。

新時代の我國に於ても、婦人の社會的活動に俟つもの多々あるのである。生活改善や住宅改造などに於ても婦人の努力を切望する。

差し詰め婦人を煩はしたき緊切なる問題は、婦人自體の服裝の改良である。何としても、現在の服裝では、能率增進の上から稽へ、將亦婦人日常の起居から慮ふても不滿足であるし。猶且現代の文化からしても不統一であると考へるのである。

この問題は住宅改造と相關聯して離るべからざ

るもので、其解決は不可分的のものと考慮する。

こゝに附言するが、我國に於ける住宅改造の大勢が、座る式を捨てゝ腰掛ける式に變遷することは世界文化の大勢から鑑みて遠からぬ將來を信ずるものであるから、服裝も從來の物を捨てゝ腰掛式のものに改めねばならぬのは、避くべからざる傾向と思考する。

住宅改造問題に關しても、臺所とか育兒室とか婦人の實際生活の經驗に俟たねばならぬ事項は多々あるのである。予は住宅改造に對して理解ある婦人の努力を要求するものは、新時代の當然の要求であつて、現代婦人の當然なる義務と信ずるものである。

□英國に於ける住宅改造

調査委員會婦人分科會

英國に於ては、戰後經營策として、住宅改造は重要なる問題の一つとして取扱はれたことは、人も知るところであるが、この住宅改造調査委員會は戰爭後期から設置されて、その最初の報告は千九百十八年に改造局から發表されてゐる。

その中で、特に吾人の注意を引くものは、婦人分科會の報告書である。

今、茲に、政府から指名されたる婦人分科會委員の顔振れを列記すると、

委員長　エンモット夫人
委　員　バルトン夫人
　　ピクター、ブランボード夫人
　　チャートン嬢
　　レン、クレーポン博士（婦人なり）
　　以下五名
理　事　リーチ嬢
　　ウォーレー嬢

などの諸氏である。

この住宅改造調査委員會の主たる目的は、中流以下の、所謂勞働住宅の施設の研究、批判をするのであるが、之等問題の解決には、建築專門的智識以外に、主婦としての實際生活の經驗に俟つ必要があるといふ點から、婦人分科會を特設したのである。その第一回の報告書を覽ると、廣汎な事項に亘つて居るが、その內、自分は如何にも婦人らしい思ひ付きであると考へられる二三の點を、こゝに紹介することゝする。

諸問の原案には、住宅として設備すべき室數の最低限度を居間、臺所と三つの寢室としてあるの

に、分科會の修正意見は、この外に是非共「バーラー」を欲しいと主張してゐるそ。の理由とするところは、接客用は勿論であるが、寧ろ兒童教育上に斯の如き室を希望して居る。寢室の施設に就いても、原案では復床（ダブルベット）のもの一、單床（シングルベット）のもの二であるのを、復床のもの二、單床のもの一としてある。斯の理由は特に明記されてゐない。

次に、臺所方面に關しては、特に詳細なる主張と希望とがあるが、其內で浴室のことに就て申し述べると、原案では臺所の一隅に浴槽を据ゑることを認めて居るのを、浴室だけは何うしても別室に區劃して欲しいと主張して止まない。

その、外洗濯場、炭小屋、押入、家具などに至るまで、詳細に亘つて意見やら批評やらがあるが、隨分穿つた名案も尠く無い樣である。

□住宅博覽會に就いて

婦人に對する希望

我邦に於ても、近頃生活改善の聲は漸く騷がしくなつて來て、差し詰め住宅改造の必要を認められ、在來の住宅の形式では到底現時代の生活に伴はないと云ふ自覺から、何とかして新住宅を大成したいとの懸案が、國民生活上の煩惱の的の一つとなつたことは、或る意味からして慶賀すべき事項たるや爭はれぬ。

この機運に會して、住宅改造の新局面に具體的に指導することは、緊切な事業と信ずるのである。其實行手段の一として、我協會主催の下に住宅改造博覽會を近く大阪市に開くことゝなつた。その事業としては、新住宅の懸賞募集やら、模範住宅の建設などもやる等である。

予は、斯の如き企畫や、その實施に方つて、新時代婦人の活動を促す必要あることを主張する。住宅の改善は、單に建築專門の立場からのみ解決し得べきものでない。實際生活の經驗家として、且つは家庭のマヂーヂャとしての婦人の智能をも加味せしむる事は、改造の萬全なる解決を得る一策たるを失はぬ。

この度の住宅博覽會開催に方つても、或は懸賞審査委員として、若しくは準備委員として、婦人を參加せしむる必要あると思ふし、同時に、婦人協贊會を組織して、主催者側を後援されんことを、新時代の有識なる婦人に希望する所以である。（丁）

近代日本建築の印象

會員　エドウィン、バンタ

氏は英文にて本編を寄せられたるも、紙幅の關係上原文を省略して譯載せり　（編輯者）

我等は地球の他の側に住むであるのであるが、日本に關する最初の觀念を得たのは、我等の手に渡つて來た種々の繪畫――曾て想像だもしなかつた奇異な美をもつてゐる樣式の寺院の繪畫――審美的の所は完全だが、しかも戸なく窓なく烟突なく、苟も一箇の家屋には必要欠く可からずと考へてゐる要具のどれもない處の脆い家屋の繪畫――によつてであつた。

されば、我等が、既に我等の想像を凌へた秀美なる寺院、住宅を見てゐるのであるから、かくも等しく日本的な、又我國の建築とは非常に異つてゐる或物を、貴國の近世の建築物に於て見るべしと期待して來つたとは、驚くにあたらぬことではないか。然るに案に相違して、日本の近代の勞作物は、訓練された眼でも訝れをいづれと語るとも出來ない程に、形式も精神も、相異の殆んど無い、我國のそれとかくも同一なることを發見した。こゝには、近代獨逸樣式、アウストリア樣式の多くの新なる建築物がある。而して、誰かその執がウンテル・デン・リンデン、或はリング・ストラッセに屬せぬと言ひ得やう。こゝには又、西洋に於て多く見られてゐる古典樣式の他の建築物がある。而して我等の中の何人が、この建築の中いづれのものが日本に於て出來たものか、又は英國か、又は米國か乃至は伊太利に於てでも、又はアルゼンチンに於ても、見分けはつかぬのである。

自分が觀察することを非常に好で居る夫等の建築物の一は大阪新市廳舍である。自分は信ずる、該

建築物は、自分が日本で見た凡ての建物の中の最善なるものであるので、好んで居る。私は、淀川の廣い流域を支配しつゝ、灰色の空に面する、此の優美なる半面影像の他のグリムプスを捉へ得んものと、道を轉じつゝある自分を發見する。

この光景を十分に語ることは出來ぬ。何人もこれが市廳舍であると告げ得られぬ。これが世界の最大最廣の都市の一の政廳の坐位である、と說明せんと欲する者はない。さういふ凡ては、我等が之の建物自身の中に讀み得るのである。而して、如何に注意深くその均齊が研究せられてあることよ。如何に之の重量が快く——而して如何に威容あり——同時に如何に温かくあることよ。

豐國保險會社の建築、之れは市廳とは又別なる樣式の構造であるが——私は、其際は立つた裝飾的の效果、この温かい色彩の配合、その配美の豐富、全體各部分相互の興趣の研究された平衡、嘆美せざるを得ないやうにせられる。同業設計家として、私はこの建築の中に、嚴酷なる研究によつて費された計る可らざる時間（然らざれば斯くも遺憾なく仕上げられた工作は不可能である）を見る。

併し乍ら、亦もとの市廳舍に歸る——何人も私にその建造の基いてゐる古典系、又はその古典的條欵を說明してくれる者はない。その樣式は自分の若年時代から自分に近しく親しみあるものであつて、凡ての英人、佛人、伊人、獨人に亦同樣である、若しこの建築物を繪畫の上のみで對面したものとしたならば——文字と象徵とを隱して——一體これは世界のどの大國に建てられしものか、推測することは出來ぬ。何人でも、どれ程建築上の訓練を經たる者でも、確實に指しあて得るものありや怪まざるを得ぬ。これ程歐米の建築と雙兒の關係にある、而して他の非古典的設計に就ても——縱しその各要素は米人たる自分に親みがなくとも——恰も古典型が自分等に親みある如く、獨逸、アウストリヤの設計家には、確に近しく親みあるものたると自分は識別する。

以上のことから、私が受ける印象は、今日の我等、米國、日本、獨逸、而して英國——我等も諸

君も——共に〳〵共通の文明に與かつてゐるといふ點である。而して、この點は近世設計の各部分に於て殊に力説せられてゐる。貴國の近世建築の細目の點に至れば、羅馬帝國の柔かき圓形樣式、ルネサンスの優美なる側面に比して、一層角立ち一層幾何學的で、一層出張つてゐると、古典の熱心なる研究家には見へる。ところが日本に於ても左樣ならば、伊太利に於ても又左樣なのである。然らば、英國の現在の工作物は尚更ら左樣でないか。又米國のそれも細目に亘り多角形に富んではゐないか。故に再び言はねばならぬ、共通の文明と。疑もなく左樣である。建築物の攻勢的形式は、我等相互の氣質を表現せるものかの如くある。而して古典的側面が用ひられぬのも、亦同樣である。

でも、日本は一箇の大なる相違點を有てゐる。我等にとりて、古典系は尋常一般の事として見らるゝ程に、舊套的で近しいものであるが、諸君の新らしい眼は古典系の中に、我等の見る可らざる清新なる可能性を見らるゝであらう。終りに、諸君は彼等から何を創作せんとせらるゝのであらうか。歷史は示すに、日本が支那系設計の有りふれた形式を借用する前に、世界の如何なる國が知つてゐたよりも一層秀れた木造建築の表現を展開せしめて居た。されば、諸君は、我等が最早失敗してがゐる處の所謂近世式鐵骨構造となる古き形式から、諸君の新なる幻影をもつて、藝術的表現を造り出すであらうか。

貴國の木造建築物を同情を、もつて研究した後如何に將來が諸君を待つて居るかを觀取し得らるゝが併し、これは、他の題目を設けて論ず可き性質のものである、諸君以つて如何と做す。(ZY生譯)

欅青葉さやげる見れば額あげてわれも大きく眸張るべかり

—牧水—

建築工事の施行と實費計算制度（下）

會員　建築士　小笠原　鈅

前號に申述べました樣に現今の請負制度はどうも其建築費の眞價を知る事が出來ません爲に建築主は多大の資金を投じ生命財産を保護すべき此貴重なる建物が實際何程の價格あるものやも不明なと申す事は如何で御座いませう？モ少し徹底的に建築工事を施行すべと云ふ事はその方面から考へても必要だろうと思ひます。

併し實費計算の事は大體押し詰むれば其人の信用人格と云ふ事が基礎になりますから却々難か敷しくなりますが差當り私の考へたる方法を以下少々申上げまして皆々樣の御訂正を願ひたいと思ひます

1. 實費計算法は根本的に信用程度のものなる故請負制度の如き見積合をなさゞる事が當然だと思ますが併し矢張建築の種類に依り施工上の得手不得手もあり從つて見積の高下を生じませうから當分は所謂過渡時代の方法として世間一般に諒解せらるゝまで二三人の見積合を在來の通り徴し合す事に致します但之は建築法に對して此建築は大體此位かゝると云ふ大體の費用の見當を示すもので愈々施行決定の上には一々實費計算をする事になります。

2. 右の見積合の結果は矢張り最低價格者に依頼する事と決定致します

3 偖愈々實際工事に取掛り總てを實費計算として精算しました結果

（イ）最初の見積價格より一割以上（此割合は尚十分研究すべき必要がありますが只今假に一寸此位と致し置きます）超過したる場合には其超過額に對しては施行手數料の歩合を仕拂はざる事

（ロ）施行者の勉強により見積價格より安く仕上

りたる場合は總精算額に對しては所定の施行手數料の歩合を仕拂ひ得た金額に對しては相當の勉勵手當を仕拂ふ事

之等は更に十分研究すべき事柄で其安くなりたる割合等も十分考慮に入れる必要があると思ひます

4 工事竣成期を遲延したり又は建築物に雨漏り狂ひ等を生じたる場合は建築主に對し或る程度の損害を蒙らしめたるものと理解して無論相當の遲滯料を拂ひ又は無償修理若くは無手數料施行等をなす責任は施行者にあるものとす

5 實費計算の方法は勿論公平正當になすべきで材料は勿論二三の材料商等より見積合せを徹し工手間も之に準じたる方法を採り一々監督建築士の裁斷に據り之が認定を受け決定施行する事

但此事柄は關係者の尤も公平謹直を要し信用上の重大事で最も六ヶ敷事實に付其手段方法に就ては十分研究を要する事と思ひます

6 實費計算なるが故に前記の方法に據り一々必要の時機又は月末等に右金額の支拂を建築主へ要求する事

7 建築主に於て時々又は毎月末等の支拂をなさず止を得ず或る期間施行者に於て立替拂をなす時は無論之に相當する手數料を別に要求する事

8 實費計算施行手數料の歩合は毎月施行したる前記月末仕拂額に據り毎月建築主より仕拂を受くる事

9 施行者監督者は右實費計算の爲計算事務が從來の請負制度に比し非常に繁多になるべきも之は工事の施行上非常に好都合なる施行法なるを以て十分に其犧牲を拂ひ極めて精勤に從事すべき義務あるものとす

10 建築主は從來自己の資本を投じて永久に遺るべき建築物を建築し各種事業の經營をなし幾多の人命又は財産を保護すべき極めて大切なる建築をなすに當り之を請負制度に付し自己

の仕拂たる金の幾割か利益として施行者に取られ居るか將又此建築を仕上ぐる爲どの位苦心して施行者が損をしたかも不知結局自己の所有する立派なる財産たる建築物の眞價は何程なるやも知れざる如き此請負制度の如きものは一日も早く廢止し最も正當なる實費に據る施行法を以て自己の建築物の眞價を知り施行者に損をかくるとか或は又大變に儲けられたとか云ふが如き不安のものゝあらざる建築をせられんことを特に諒解せられ從て一々實費の支拂を面倒に思はず支出せられ其建築の爲に努力したる施行者に手數料として總精算額の幾分を支拂ふの方法を採る事

右の如く各關係者が十分の諒解を以て建築の施行法を漸次改善して實費計算法を行へば建築主は前述の如く其建築物の眞價を知り滿足して施行者に當然の手數料を拂ふ事は心地よき事と思はれます

施行者は從來の請負者なる一種妙な營業とは全然其立場を變へ正々堂々と眞面目に工事を施工し十分なる技倆を發揮して完全の施工を爲し我れ人共に公明なる安全の施行を了へ之に對する手數料を確實に收得し安固なる事業をなし得られます監督技術者も公明なる實費の施行に據り少しの無理もなく設計者の意思通り圓滿に施行し得て技術者の立場に於て最も望ましき施工をなし得る事と思ひます

故に此實費計算法を如何に活用せば現今の建築工事の施行に最も圓滿に利用し得て總てが此方法に據り得る時代が何の時來るか之が實行の手段方法は偏に諸彦の御指導に俟つ次第であります。

北米郊外の家（其の一）

……花園のこと……

ます ほ

May.

Among the changing months May stands confessed The sweetest, and in fairest colors dressed"……Thompson.

咲き誇る花の五月は吾々にとつて一年中最も多忙な月である。植付けばかりでも忙しさに勞れ果てるのに外に澤山の要務が山程掩ひかゝつてゐる

先づ春先き早く行はればならぬ第一の仕事は良い綠肥を敷肥することで降雨の前を最も適當とする。多くの畑の收穫及び花園の美觀はこの月に地に潛んでゆくのであるが地面が適當に乾いて崩れる樣な好天氣が定まる見込の着く前には播種も植付けも凡て無駄なことである。そして肥料が施されたならば隈なく耕すことが必要である。然し其處から收穫しやうとするものが淺い根を持つ種類の時には深く耕やすのは骨折損に終つてしまふ。

（十六頁へ續つく）

火災保險と建築（其貳）

會員　長田岩次郎

前回の終りに『表面は固く協定を守つて居る樣であるが、實際は却々協定が嚴格に保てないらしいのである云々』と申したるに、其後三月十一日の大阪毎日新聞經濟欄の記事を見て、其が事實で有る事の裏書を得た樣な次第で、其の記事とは左の如きものである。

火災保險協定破壞と題し、

料金割高　現在の火災保險料率は大正七年に協定され從前の約四倍としたものだが其當時は財界好況期で被保險者は左程苦痛としなかつたが昨今の如き不況期で生產費輕減が云爲される時に保險料の負擔は決して輕くないそれで被保險者中に現行料率は高きに過ぐとて保險期滿了の場合に料率の引下を保險者に迫つて止まない中には自己保險によつて此負擔を免れやうとしてゐる者もある殊に電鐵會社の如く電車の火災事故が比較的尠いものは同業者共同して保險金を別途に積立て自己保險の資に充てんとしてゐる

協定破壞　昨今の如く大小共火災尠く且料率が安全地域で一千圓に對し四圓の高率であるから保險會社の利益多く何れも相當多額の積立をしてゐるのは料率引下の餘地を示すものである日本の如く五年乃至十年に一二回の大火ある處で料率協定前の如く料率が千分の一以下では此損失を塡補することの出來ない窮地に陷るだらうが此邊を斟酌するも尙引下の餘地は十分あり小保險業者の如き協定料率を格守してゐると保險を大會社に奪はれる虞あるので昨今盛んに料率を引下げ競爭的態度を採

り協定率は實質上破壞されて居る從つて此際現時の狀態を持續するに於ては各社の競爭一層猛烈となる虞があるから保險料金の改定は保險業者のためにも却つて必要だらうと

然るに三月廿四日東京千住の大火以後引續き東京新宿。土佐高知。福井縣。東京淺草。水戸。北海道函館。と大火頻發する爲めに、最近では保險業者も新規契約に多少警戒し始めた樣であるが此は結構な事で保險に限らず何事も日頃から警戒してゐれば間違は無い筈で有る、永らく大火もなかつたから今年あたりが或は大火の周期に當つてゐるかも知れんから保險業者は何時も高率の配當が出來る樣な考をせずに大に警戒する必要が有ると思ふ

閑話休題として本文に入り前回の特別料率のつゞきとして保險料の割引に就て述べると

普通物件では前回に述べたる以外割引はないが工場物件となると左の二種の割引が有るのである

一、工場の休業中に受ける割引

二、自働消火器裝置により受ける割引

一、休業中の工場

イ、手押以外の二馬力以上の動力を使用する工場にて(綿、絹、毛紡織工場を除く)休業中のものは當該物件に對し作業中に適用せらる可き料率の二分の一を割引くものとし但し百圓に付二十錢を下る事を得ざるなり

休業中と雖製造の目的に非ずして單に調整の目的を以て時々機械を運轉するは差支なし

注意　建築中或は大修繕中又は機械裝置中の建物は之を休業中の工場と認めざる　勿論甘蔗粗糖工場、再製工場、茶整選工場は「休業中の工場」なる割引を適用し得ざるなり

ロ、綿絹毛紡織工場及建物にて機械は据着けあるも製造の目的を以て運轉せざるものは

第一級構造工場　百圓に付　二十錢
第二級構造工場　同　卅五錢
第三級構造工場　同　五十錢

但し右金額が運轉中の料率より高き場合には運轉中の料率を以て休業中の料率とするのである

二、自働消火器裝置により受ける割引

イ、綿工場及其附屬建物にて保險協會の規定に適合し且協會の承認を得たる場合には左記の割引を受けるのである

	第一級	第二第三級
第一規定に適合の場合	五割五分	二割五分
第一第二兩規定に適合	六割五分	三　割

倉庫（綿工場内の）

他の設備に對する割合を含み　二割

ロ、絹毛紡織工場及其附屬建物にて保險協會の規定に適合し且つ協會の承認を受くれば左記の割引を受ける事を得る次第なり

	第一級	第二第三級
第一規定に適合するとき	四割五分	二割五分
第一第二規定に適合の場合	五割五分	三　割

倉庫（絹毛紡織工場内の）

他の設備に對する割合を含み　二割

次に割引の反對に割增を受らるゝものを示すと左の通りである

一、構造上の割增

イ、使用材料による割增

ロ、高さによる割增

イ、割增料率に於て云爲せらるゝ使用材料は主として屋根葺材料及防火戸にて即ち普通物件にては

栗木羽葺……一割增

其他可燃質葺……三割增

合成物葺……百圓に付…五錢增

「ラバロイド」葺及「マルソイド」葺屋根は合成物葺として分類し是等の屋根に對する割引を徴收するものとす

尙可燃質葺割增は總て如何なる場合にも百圓に付二十錢を下る事を得ず然れ共又百圓に付一圓を超ゆる必要なきものとし且つ可燃質の置屋根を有する土藏造は全然割增を要せざるなり

手押以外の二馬力以上の動力を使用する一

般工場にては
可燃質物を以て葺きたる屋根
百圓に付二十五錢を割増す
「ラバロイド」「ルソイド」及他の合成物葺屋根は百圓に付五錢を割増す
綿絲工場にては
綿ネルの起毛作業が其建物内又は二重の鐵戸若くは金屬張戸を有せずして是と連絡する建物内に行はるゝ時は
百圓に付五十錢割増す
綜絖のニス塗及乾燥作業が其建物内又は二重の鐵戸若くは金屬張戸を有せずして是れと連絡する建物内に行はるゝときは
百圓に付十錢を割増す
絹絲工場にては
乾燥作業が其建物内又は二重の鐵戸若くは金屬張戸を有せずして是れと連絡する建物内に行はるゝときは
百圓に付五十錢割増す
ロ、高さ(即ち階數)による割増は主として防火及消火上の必要により定められたもので
ある即ち
普通物件に於ては
第一級及第二級の建物にあつては第四階及其以上一階を増す毎に
百圓に付き十錢を割増
第三級第四級の建物にありては第三階及其以上一階を増す毎に
百圓に付き十錢を割増
注意 五重塔の如き建物に對しては階數割増を要せず、又都市の一等地及二等地に所在する第一級構造の建物にして單に事務所として使用せらるゝものに對しても階級割増を要せざるなり
綿絲工場に於ては
地階(市街地建築物法などの壹階の意味である)以上一階を増す毎に各級共
百圓に付き十錢を割増
但し耐火構造の工場にして各階交通の爲めに設けられたる總ての階段、扛重機又

は昇降機が耐火的に建造せられたる室内に備付けられ且つ其室内より各階に通ずる總ての開口が鐵戸を有するときは當該建物に對する契約並に各階毎に保險金額を區別して爲されたる收容動産に對する契約には前起階級割增を免除する事が出來るのである、尤も各階に對する料率は其實際作業をなす種類によつて定むるのである

絹絲工場に於ても
綿絲工場と同じく地階以上一階を增す
毎に百圓に付き十錢を割增
綿絹糸工場以外の工場には今日階數による
割增はないのである

二、時期による割增
建築中或は大修繕などの工事中の割增で

イ、普通物件なれば
第一二級構造で　百圓に付三十錢の割增
第三四級構造で　百圓に付五十錢の割增

ロ、工場物件（綿絹毛紡織工場共）なれば
工場構內に於ける建築中の建物にして動力を使用する建物と連絡せざる時は
第一級構造……五十錢
第二級構造……六十五錢
第三級構造……七十五錢

大修繕又は建增工事中の建物に對しては前記料率の上に百圓に付二十五錢の割增を加ふるなり

注意　前記イ、ロ、共割增は十二ケ月末滿の期間に對して日割計算にする事が出來るのである（つゞく）

北米郊外の家（その二）

（十一頁より續く）

概して花園は位置と季節に依ることが多いが五月には實際に凡ての一年生の草花類は開かれた花園に移植せられる。尤も是等の草花類は屋內の函又はコールドフレイムの內に播種又は植付けせられて移植に適する樣成長させたものであることは言ふまでもない。普通の花園に於て最も良好な一年生草花の名を擧げるとナスターチユウム、ゴーデアス、ペチユニアス、ドラモンドフロックス、フオーアオークロックス、ゲイルラーヂアス、ポツトマリゴールド、スカビオサ、ジニアス、スウイートアリサム、キヤンデイタフト、コスモス、ポツピイ、ラークスパー、ミグノ子ツテ、ニコチアナ、ポーチユレーカ、サルピグロシス、テンウイークストック、ナイトブルーミングストック等で美るはしい五月の光が訪れた時播種の勞を思ぐまるゝならばやがて是等の花々は樣々に豐麗に咲き亂れて感謝するでせうし又花の多くは或人々からの特殊な要求にも充分滿足を與へることでせう。

（五七頁へ續く）



（研　究）

ポルトランドセメントの成分及び其硬化に伴ふ變化に就て（1）

工學博士　細木松之助

ポルトランドセメントの硬化を起す變化を知らんとせば其先決問題としてポルトランドセメントなる物は如何なる物なりやを知る事を要す然れども其精細なる點は遺憾ながら今日と雖ども未だ充分に明知するに至らず、其大體は諸方面に於て行はれたる研究の結果によりて之を窺知するを得べきなり然るに我國に於て從來行はれたる（現今と雖ども舊法を墨守する所尠からざるべし）セメントの成分を知る方法は所謂原素分析を行ふにありてセメント百分中に珪酸何分石灰何分礬土何分酸化鐵何分等に夫々定量するにありたれ共若しポルトランドセメントが一箇の單純なる化合物であるなれば右の如き分析にて其成分を知り得べき理なれ共ポルトランドセメントなる物は頗る復雜な混合物なるを以て到底右の如き簡短なる原素分析によりて其組成分を知り得べき物にあらざるなり然

らば如何にして之を知り得べきやは頗る難問題にして多數の學者が此問題の解決の爲に頭を痛めて研究したりしが佛蘭西のル、シャテリエール（Le Chatelier）及び瑞典のトェー子ボーム（Tornebohm）は鑛物學者が岩石を研究する方法を採用しクリンカー並にセメントの硬化したる物を研磨して極薄片と成し之を顯微鏡下に觀測して初めて其主なる成分を知ることを得たり即ちボルトランドセメントの主なる成分は四箇ありてトェー子ボーム氏は之を命名してアリット（Alite）ベリット（Belite）セリット（Celite）及びフェリット（Felite）と稱せり而して此等の中の第一と第三は就中主なる物にして特にアリットは殊に主要なる成分に且つクリンカーの大部分を占むるものなり又セリットは少量のベリット及びフェリットと共にアリットの粒子の間隙を充たすものなりと云へり

アリットはロンビック屬に結晶して六角形を成す傾口を有し或人は之を以て珪酸三石灰中に礬土酸三石灰の固溶體なりと爲せ共斯る固溶體が正しき結晶體を爲すべしとは信じ難き理由あり而してル、シャテリエール氏はグラッビエールと稱する水硬性石灰中の塊を殆んど全部アリットより成れるを以て之を分析して左の如き成分を得たり

石灰	六六、〇
珪酸	二六、〇
礬土	三、五
第一酸化鐵	一、〇
水其他	三、五

又シュミット及びウンガー兩氏はボルトランドセメントを電氣爐にて熱し之を熔融せしめて冷却したるに全部結晶して其中より曾て得られたる最大のアリット結晶を得たり而して此結晶は完全に發達して其物理的特徴は悉くアリットの夫と合致して其アリットの結晶なること疑ふの餘地なきを以て之を分析して左の成分を得たり

石灰	六七・四三「ペルセント」
珪酸	二三・四三　同
礬土	三・七八　同
第一酸化鐵	二・三二　同
苦土	二・四四　同

此成分は前に掲げたるルシャテリエール氏の得たる物と能く合致するを知るべし然れ共二者共にポルトランドセメント全部の成分に比較して稍礬土の量に於て不足せるを示せるのみならず、其他の方面の研究に據ればアリット以外にも其量に於ては頗る少なりと雖ども、セメントの品質を優良ならしむる物の有ることは之を認めざる可からざるなり

ベリットは未だ純粋の狀態に分離する能はざるを以て其成分を明確に定むるに至らずと雖ども一般にオルト珪酸石灰（$2CaO.SiO_2$）なるべしと認めらるるセリットはアリットよりは熔融點低き物にして交叉せるニコルによりて之を見れば鮮麗なる色を呈しリチャードソン氏は珪酸二石灰中に礬土酸二石灰の溶解したる物なりと云へども未だ充分に純粋なる物として分離したる物なきを以て其成分は未だ之を斷定せざるを可なりとす

フェリットは無色なる菱形結晶をなせ其其成分に關しては學者によりて其主唱を異にし未だ一定するに至らず

ポルトランドセメントの主なる成分は上に記述せる四者なるが如しと雖ども セメント界に於ける權威者たるル、シャテリエール氏の如きすら純粋なる石灰と珪酸とを以て完全なるセメントを造らんとし屢々之を試みて常に不成効に終れるに由て見るも石灰と珪酸以外に尙要素のなかるべからざるを示す物なり又鹽基性熔滓と石灰石とを以て造れるセメントと粘土と石灰石とを以て造れるセメントとの間に明確に認識せらるゝ差異ある事實も共に珪酸と礬土の特殊の化合物及び此等二者の存在がセメントの構造上に肝要のものたる事を示すものなり而してセメント中に於ける石灰と珪酸の比即ち$CaO:SiO_2=3:1$が殆んど一定不變なる事は偶然の事に屬す決してセメント中に於ける硬化を生ずべき要素を悉く表示するものにあらざるべし如何になればセメント中に假りに左の如き二箇の化合物が存在するとするも即ち$3xCaO.GA6_2O_3.xSiO_2$及び$3xCaO.xSiO_2$及び$3xCaO.xSiO_2$此等兩者中に於ける石灰と珪酸との比率は共に三にして共

に相等しと雖とも兩者間の性質に至つては大なる相違あるべきは最も明瞭なる事なりとす是れ前者に在つては礬土を含有すれ共後者は全然之を缺げるを以てなり

斯の如くセメント中に於ける礬土及び其他少量の物質がセメントの性質に及ぼす影響は素より之を看過すべからざる事なりと雖とも研究家の大多數は熱中の餘り珪酸三石灰なる化合物の存在のみが所謂先入主となりて他の問題を等閑に附し去れる傾あり故に此珪酸三石灰以外に於て第一に礬珪酸石灰なる化合物の存在を閑却し又少數の人にして此礬珪酸石灰の存在を認めたる者あるも此等の人々は其成分並に性質を充分研究するに至らざりしものの如し

又優良なるセメント内には常に礬土の若干量を含有せる事實の說明を求めんが爲に多くの研究家は礬土酸二石灰（$2CaO.Al_2O_3$）を造り其成品に就き研究したる結果により此物は急硬性にして膨脹の患なく硬化の性質良好なるを認めたるによりて速斷してポルトランドセメントなる物は前に記したるアリットと此礬土酸二石灰との單純なる混合物なりとなせども市販のセメント中より斯る礬土酸石灰を分離し得たる◎なきのみならず此礬土酸石灰はフエノールフタレインのアルコール溶液を赤色ならしむる性質を有するを以て若し斯る礬土酸石灰がポルトランドセメント中に存在する場合に於ては此指示藥の作用によりて容易に其存在を檢出し得べき筈なれ共優等に出來たるポルトランドセメントの新鮮なるクリンカーは此試藥に對して何等顯色的作用を起こさゝるを以て上記の如き礬土酸石灰なる化合物はセメント中に存在するものと認むる事能はざるなり故にポルトランドセメントがアリットと此礬土酸石灰の混合物なりとの說は說明としては簡單にして且便利なれ共實際の事實と一致せざるを以て不可なりとす

依てアッシ氏（W. and D. Asch）は結局ポルトランドセメントはアリットの如き一箇の化合物にあらずしてアリットはセメントの主要成分なりと雖とも其外に復雜なる構造を有する礬珪酸石灰の一箇若くは一箇以上を含有する者にして再言すれば此等物體は礬珪酸の鹽基性鹽なり而して此等礬珪

酸の構造は珪素とアルミニウムの元子を六角若くは五角形に聯結したる上に多くの側鎖（Side Chain）を有し此等の側鎖には主として鹽基を結合せりと云へり（委しくは W. and D. Asch.-The Silicates in Chemistry and Commerce. なる書を見らるべし）

アリットの構造式に就ては尚充分明瞭なりと云ふ事能はざる點なきにしもあらずと雖ども其成分は一定にしてアッシ氏がセメントの主要分と爲せる者と相一致する者なるを以て優良なる性質を具有するセメントは其成分の最大部分のアリットなる特殊の礬珪酸鹽に極めて接近せる者たらざるべからざるなり而してセメント中に於ける石灰の含有量が極めて少量に增減するともセメントの强度其他の性質に及ぼす影響は頗る著しき者なる事は久しき以前より周知の事に屬するを以てセメントの原料調合の變化の範圍は極めて狹き者なり

故にセメント原料調合の範圍を限制すべき簡單なる標準を得んが爲に通常ル、シャテリエール氏の假定に從ふ事となり居たり即ち此假定によればポルトランドセメントは珪酸三石灰（$3CaO.SiO_2$）と礬土酸三石灰（$3CaO.Al_2O_3$）とより混成せる者なりとするにありき然るに又ニューベリー氏（Newberry）の假定説によればセメントは珪酸三石灰と礬土酸二石灰（$2CaO.Al_2O_3$）とより混成せる物なりとせるを以て今前者に從へばセメントは珪酸三石灰m分子と礬土酸三石灰n分子より成る物にして又後説に從へば珪酸三石灰m分子と礬土酸二石灰n分子とより成れる物となるなり故にセメント中に於ける石灰に對する珪酸及び礬土の含量の比率は一定不變なるべきものにして此理想的比率はル、シャテリエール氏に從へば

$$\frac{\text{石灰の分子數}}{\text{珪酸の分子數}+\text{礬土ノ分子數}}=3$$

ニューベリー氏に從へば

$$\frac{\text{石灰の}(m+n)\text{分子}}{\text{珪酸のm分子}+\text{礬土のn分子}}=3$$

となるなり然るに一方に於て前既に述べたるが如く礬土酸三石灰なる化合物はセメント中に存在する事を證明したる者未だ之なきのみならず又らな

る比率は寧ろ過大に失する恐あるにも拘らずニユーベリー氏の公式は未だ一般に採用せらるゝに至らずして却つてル、シャテリエール氏の公式を一般に採用し之を以て優良セメント内に於ける石灰の最大限度を決定すべきものとなせり

然れ共英國の標準仕様がポルトランドセメント中の主要成分の量を限定する公式は

$$\frac{\text{石灰の分子數}}{\text{珪酸ノ分子數}+\text{礬土ノ分子數}}=2.85$$

にしてルシャテリエール氏の公式よりも石灰の量少くして足りとす又子分子等價量を計算するを不便とする時は石灰量の極限を算出する公式は

$$\text{石灰の}\%=2.8\times\text{珪酸の}\%+1.1\times\text{礬土の}\%$$

となるなり而してセメント中に無難に含有せらるゝ石灰の量はセメント製造者の注意と熟練とによりて差異を生ずる者にして原料が充分に細粉にせられて完全に混合せられ且適當に燒成せらるゝ場合に於ては不完全の製造による者よりも稍多量の石灰を含有するを得べく礬珪酸鹽となりてセメント中に含有せらるゝ石灰の量が增大するに從ひてセメントの强度も亦增進するものなれ共此礬珪酸鹽以外の石灰は其効能之に劣り遊離石灰の存在を却つて危險なりとす

ル、シャテリエール其他の公式によりてセメント中に於ける石灰分の最大極限を知り得べしと雖ども實際に於て石灰分移動の可能性範圍を知るには其最小限度をも知らざるべからざるなり此最小限度に就ては獨逸のミハエリス氏(W. Michaelis)の創意に係る水硬率(Hydraulic Modulus)の公式によりて之を算定し得べきものにして獨逸に於けるセメント製造業者は一般に斯の水硬率を標準として其原料を調合せり

$$\frac{\text{石灰の}\%}{\text{珪酸の}\%+\text{礬土の}\%+\text{酸化鐵の}\%}=\text{次頁參}$$

斯式を標準として獨逸國にて得たる經驗によれば水硬率は一七より以下に降るを許さゞるものなり以上各公式によりてセメント中に於ける石灰と他の諸成分との關係は稍明かに限定せられたりと雖ども何れの公式に於ても珪酸と礬土との割合に就て何等表示する所あらざるは尙頗る不完全たるを

免れず。斯の事は頗る肝要の事に屬するを以てなり如何となれば實際に於て珪酸を多く含めるセメントは其少なき者よりも優等なるのみならず原料調合物中に珪酸分少なき者を回轉窯にて焼く時は仍て生ずるクリンカーは窯の内側に附着して窯を閉塞するに至るを以てなり

ドルマン氏（O. Dormann）は礬土と珪酸との重量割合 $R_2O_3 : SiO_2 = 1 : 2.5$ より $1 : 3.0$ の間に於て優良なるセメントを得べきことを發見し斯の割合を合子の割合に改算すれば礬土一分子に對し四、二五乃至五、一分子の珪酸に相當す而して多數の英米獨製のセメント成分に就て其當否を檢するに皆其正しきを證せり

ポルトランドセメント中に含有せらるゝ各成分間の作用を明確に知る事は現在に於て殆んど不可能事に屬す是れ此等成分が互に作用して構成する物體を單獨に分離して其性質を研究すること能はざるを以てなり（つゞく）

衆人の奴と成り能はざる者は衆人の主と成る能はず。

カーライル



「都市」

將來の『市加古市』(12)

ウオルター・デイ・ムウデイ著
Z Y 生 譯

第十章 急速を必要とする或理由(2)

(四)

市街擴張の場合に於て、法律は市にその買收する財産所有者に對し、その全部が入用でないに彼の財産の時價の全額を支拂はせしが殘の部分は元の所有者の權利に屬せしむる、その法律の沒條理さ加減を想像せよ。この類の事件はシカゴ市のミシガン刈樹街擴張の場合その記錄にある。その時に市は一地區の一部分が入用であつただけである法律の定むる處に從つて、その全地區の價格を支拂ひ、而も所有者はなほ殘餘の部分の權利を保有してゐる。六ケ月後その所有者は件の殘餘の部分を廿六萬六千弗で賣却した。それは市が彼の他の地區の部分を買收せんとて、法廷に持出した時に定められた彼の所有全地區の價格よりも更に多額

のものであつた。而して彼のこの巨大な利潤は、市が企つる大通路改繕のために生じたので、正當に言ふならば、彼はその小額をとつて滿足し、大部分は市が取る可きものである。

市が正當な十分な價格を、現金にして提供するに、之れを拒絶して、より巨大な價格を要請して戰ふ財產所有者に對しては、彼の權利を制限す可き何等の法律も曾て造られてゐない。だが法廷に於ける經驗によつて、彼も早晩己を捨つるに至らう、又夫等の經驗が知らるゝ樣になると共に、彼の同一の他の者をも捨てさせる可く助ける樣になるう、法律は眞の市の都市計畫案の必要を知らぬから、若しも私有財產者を十分保護しないならば輿論をしてその改善事業の後援者たらしめることが出來ぬとの恐を、幾らか抱いてゐるのである。大多數者の幸のためには、少數者の幸を捨てねばならぬそのことを我等は學ぶやうになつた、恰も我等が大戰の際に、個人の利益は國家の利益のために捨てねばならなくなつたと同樣である。大抵の州では、その法律が不適當である。その法律は公共改良事業に肩を入れさせんと誘引するために市よりも寧ろ財產所有者に味方する樣に法律が作られてあるに拘らず、事實は之れ等の私の個人に對する便益利得が、個人をして市を交わしめる可く奬勵を與ふる本來の志が達してゐない。寧ろそのために、最高法院に於て、甚しい掛値をもつて市を相手に戰はしむる樣のことゝなり、又その財產を手離さないとして戰はしむるやうの失敗に終つてゐる。今多少有名な事件が、市加古市に於て大市街擴張計畫の一に關して起つてゐる。法廷の鑑定家は、專門家が該買收家屋土地の周圍の家屋土地の價格、その最近の賣買價格等の全般の調査によつて定めたる處に基き、その價格を定めた。而して該財產の所有者は、辯護士依賴料九萬弗を要するを以つて法廷鑑定家に定めたる價格の四倍を市から受けたしと專門家の鑑定を添へ法廷へ申出た。故に市は一私人との長い費用のかゝる訴訟を避けたいと思つて、法廷鑑定家が定めた價格の廿五パーセント多くを以つて買收せんと申出た。これも巨額であつて、增加の廿五パーセント即ち

十五萬弗に上るのである。彼はこの申込を拒絶して、法廷の問題として、陪審官の判決に待たうと申出た。彼の申出を聞き、價を定むるに三ヶ月がたつてしまつた。而して市は廿萬弗迄更に增した陪審官は凡ての民衆の利益になる樣に事を公平に定めた。その結果は初めに法廷の鑑定官が値ぶみをしたよりも、三萬五千弗少いだけの價格を支拂ふべしとした。即ち後に市との私の圓滿解決交渉の時定めた價格よりも、十七萬五千弗少く、又市に打勝たんがために雇つた辯護士への謝儀を加ふれば、全體の損失廿七萬五千弗に上るのである。こゝに於て彼はこの訴訟を最高法院へ持つて行つたが、裁判官は前法院の判決を支へてそれ以上を許さなかつた。辨疏、交涉、協商の如何なる努力が爲し得るよりも、更に有効に迅速に、搔き込み主義の非公共的精神の財產所有者を敎育するに於て、より大なる公共的改善事業に關する法廷の活動から、右の類の更に多大の結果を得ることは困難である。

（五）

地方主義偏見が或市では遲延の原因となつてゐる都市計畫案が何處かで始められる。之の時に先づ第一にすべき常識は、多の民衆に影響を及ぼす改良事業が、最も必要とせられてゐる點は何處かを見ることである。自然都市計畫案に着手するに、合理的の場所が、その基礎とならねばならぬ。此の如きことに就ては市民は廣くあられねばならぬ。第一に全市の最も必要なる處に改善を實現も、地方區域を第二に廻されねばならぬ。民衆の投票を要する處の市の福利に關係する凡ての事業に於ては、市民はいつも進歩的の立場におられねばならぬ。彼等市民の欠陷は、彼等の位置を、公職にある彼等の代表者に知らしめるために、先づ當然に自ら進でやらないことにある。だが實際はかうなのである。最初に我等は、彼等がその望んでゐる公の義務を盡すに適する人なりや否やのことも決定せずに、公職に選擧してしまふ。而して第二選擧してしまへば、我等は、等が卑にする樣にすて、於いて、又全く忘却してしまふことである。これが民衆の缺點である。あらゆる物は收獲の日がくる。結局表現を無視しておいた公職のために、民衆が悲痛をなめねばならぬまわりあわせになつてくる。

都市計畫の或方面に向つて、より善き時代の黎明が見え初めてゐる。所有權に直接影響を感ずる市民等は、協力し反對せぬとが、取る可き賢い又經濟的の方針であるを學び始めることになつた、通例過去に於ては、所有者達は計畫案と戰ふために聯結したもの

であるが、今は市當局者と背中合せにあるとには、双方にとりて時日を遲延せしめ出費を增すに終るのみであるとに氣がついて來た迅速に有効に又雙方が滿足する唯一の途は、市と都市計畫委員會とが、協力する樣に財産所有者の側で處理することである。かゝる關係からのみ、最も有利なる結果が兩方にむいてくるのである

右の如き政策が最も賢明なのであるに拘らず、この政策の愚なる轉倒の幾つもの例が、市加古市の改繕事業である、有名なる十二市街擴張、ミシガン列樹街延長の場合に見らのである。近代の都市計畫事業で、最も迅速に行はれた例を求むれば、ブエノス、アイレスの公共改繕事業にある。南米のパリとして知られて居るこの誇りがな美はしき都市は、折しも、國際的秘密會議を已の市に接待することゝなつてゐた。併し、市の美はしき發展てふ同點に就て、市の中心に近い或るむさくろしい一角があつて、心ひかるゝことなく誇ることは出來なかつた。ブエノス、アイレス市民はこの缺陷を矯正して全世界より來る訪問者の眼を汚さざらんと決心した。市は命令一下のもとに之の事業にとりかゝり、九十日間に之の區域の財産の幾何かに移轉を命じ、そこを空地にして、草花、灌木、樹木を植ゑつけてしまつた。訪問者の到着した時には、際立つた建物の周圍に美はしい公園を見たのである。ブエノス・アイレスの市民は、其市を大なる家庭と考へてゐた。彼等は世界からの一行をもてなし、市から出來る丈け良き印象を與へんと欲した。これ米國に於て實行さる可きすぐれたる謀略である。尤も秩序ある家庭は教養の結果であつて掩飾であつてはならぬが。

ミシガン列樹街並に十二市街に關する、訴訟事件の裁判では、市加古市は幸であつた。といふのは、その法律關係の責任を帶びて携さはつた裁判官が、市加古市の福利を思ふ高尚なる精神の、又稀な法律的能力の鋭い人であつた。即ちユージ子・エイチ・デュツベミの人であつて、地方改善局の特別顧問をしてゐた。氏は卓越せる判法の大家たるばかしでなく、實に市加古市の古くして善き家柄の一に屬してゐた。此は都市計畫に對しインスピレーションを感ずる、最善の遺傳をうけつゐである上、市加古市のためには、そも〳〵の始から働く樣に、特に定められてゐた。該計畫を施行する手續に關する、彼れの知識といふのは、正確で又完全なものである。

公共改善事業が準拠す可き法律は、各州によつて違つてゐるがイリノイス地方改善法令は、今日迄我國にて制定された法令中、最善の準則であると、一般に認められてゐる。之れでもこれが煩はしい多くの不必要な、澁滯の原因となるものである。どの米國の都市でも、公共改善事業を始むる際、必らず定つて生ずる困難法外な時の遲延を表示するものとして、先づ市加古市に於て踏んであらればならぬ手順を、初より終迄點檢して見やう。

先づ第一に州の法律の下で、公共改善事業は「地方的か」又は「一般的」かの何かに分れてゐる、地方改善事業は、主として特に隣接せる地方を稗益するものであつて、其費用は該事業によつて利益を蒙れる財産に課せる、特別稅によつて得べきである。一般的改善事業は一全市を稗益すべき一市の一般的基金又は公債發行に賴りて支拂つてある可きである。右兩者の各々が受けてゐる制限は、公債の發行に影響を及してゐる。第一のものは、市が州立

法部の力を借りてなせる一算定價格の五%一、小範圍に限られてゐる。第二のものはかゝる公債發行に於て選擇するには、大多數の投票が必要である。地方改善事業の場合には、その費用の一部分は、特別なる課稅から得てあるべきであるが、市が公共福利の業にたづさわる場合には、公債發行によつて費用を得べきである。一般改善事業の場合には、公共事業の委員の管治權に委ぬべきであるが、地方改善事業は、地方改善局の支配に服してゆかればならぬ。市加古市に於ては此局は市長及び市會の任命せる五名の役員によつて成立してゐる。

財產所有者が該局に對し、地方改善に對する暗示を與へることも出來るし、又該局自身が此の如き改善事業を造るための措置をとることもある。先づ第一步は提案せられたる改善事業の解釋的圖形が、該局によつて採用せらるゝことである。而して、この圖形は買收され、又は損害を蒙るべく豫想さるゝ私人の財產を表に示し、又この價格幾何か見積高をも記入したものでなくてはならぬ。かゝる改善事業の範圍、性質、場所によつて、其評價又は解決に要する時も、又長くもなり短かくもなる。たとへば十二市街やミシガン列樹街の改善事業の如く、數ケ月にてすむものあり、數年を要するものあり、實やす時はその場合々々によつて種々樣々である。

之の解決を採用して後十日以內に、該局は之の如き改善案に關する公衆審問の時日を決定せねばならぬ。而して提案せられた如上改善事業、並に公衆審問の通知書を。斯る改善事業のためにこの財產及び一身上に影響を蒙るべき運命の下にある各財產所有者に送るべきである。この通知は課稅地帶にある財產所有者凡てに對して、屢々發せらるゝことがある（尤もこれは法律上には要求されてはゐないことなのではあるが）通知書は公衆審問の日より五日より前に、各自の手許にとゞくやうにしてあらねばならぬ。即ち右は該局が件の解決案を採用してから、公衆審問の日は決定する迄に、少くとも半月以上の日子を經過することを意味してゐることゝなるのである。

公衆審問の場合には、どの市民でも出席して、改善案に組せやうと反對しやうと、自由に意見を述べることが出來る。其必要、性質、價格に對して、贊成し、否定する權利を有してゐる。こゝに該案を長く遷延せしむる機會も伏在してゐる。暗示せられた提案を採用し、之れに基いて該局が活動する前、一年の間は時々にかゝる公衆審問の會議を連續して開くことが出來るのである。而して該局が何等かの恰好なる決議に達した後でも、一ケ月を經ざれば、如何なることにも着手するの自由がない。これ反對の財產所有者のために設けてあるのであつて、彼等はこの期間に反對意見を申出ることが出來るのである。若しもこの期間に財產所有者の半數以上が提案せられた改善案の線路にそふた反對說を申出る場合には、更に尙ふ一年間は、如何なる企も活動も爲し能はざる規定である。

（六）

大多數の反對者もなく一ケ月間が經過してしま

つた後に、該局は正式に件の改善案を認可する。價格の評價、買收さる可き、又は損害を蒙る可き土地と共に、詳細に該事業を記述した條例を添へ市會へ推薦する形で認可する。而して其條例の布告は、實際の工事に着手する時、その條例に從つて請負人を命ずることの出來る程に、完全なものでなくてはならぬ。之の圖形起草には一ケ月はかゝるであらうし、又再び修正を要しなゝ程に非常な注意を拂つて起草せねばならぬ。

最も好都合の境遇の場合にあつても、該案が市會審議の手續中に非常に遷延せしめられる。凡ての條例はそれが効力を發生する前に、會議の手續を踏んで(これが尠くとも一週間も時間を要する)發行されてあらねばならぬ。たいていの條例は、市會そのものが審議するに先だつて、市會の選んだ委員會に送附され、そこでもつて審議される。こゝに再び時日を遷延することゝなる。凡ての提議された改善案は、この委員會に附議さる前、更に公衆の十分なる監査、商量を受くるために開放せられてゐる。こゝでも以前に勝る一層の公衆審問、一層の討論、一層の反對、一層の遲延、を受ける。屢々變更が加へられることもある。こうなると更にもう一層遲延してくるのである。左樣いふ市會選出の委員會では、市民は何人でも該提議の反對贊成何れにも詳細に亘つて聽くことも出來るのである　或る改善案などの如きは、該委員會が之れを議題に上し、手續を進めて行く前に一年間もかゝることがある。

市會選出委員の手續が都合よく完了しても、若しも市會が其條例を速に審議に附してくれぬ場合とか、又は速にかたづけてくれるにしても、七十名の市會議員中の何人かが該條例に變更を加へた場合には、重ねて前の委員會に廻すこゝとなつて實に何時片付くとも知れぬ程に遷延してしまふ。

その次には市長が、肯定又は否認の權をもつて居て、こゝに又廻さねばならぬ。

次の順序として市は法廷に請願書を提出して、買收又は損害を蒙りし財產に對して其所有者に幾何の賠償を支配ふ可きかを決定せんとを求める。又その財產が利益を受け或市街擴張の際土地家屋

を買收するの必要ありかゝる者に賠償し、又市街擴張せられ電車敷設のため其邊の土地家屋等の値段が騰貴する。かゝる者に課稅する）又かゝる利益を受けし各所有者に對し、幾何の課稅をなす可きかを決定せんことを求める。そこで法廷の任命せし二名の委員は、地方改善局の書記と共に土地建物の價格、損害、利益の額、又同樣に之の利益を受くるであらうと思はるゝ地域を選み出し課稅の範圍内に於ける財産の各部分が利益す可き正確なる額を均分するなど、之れを決定するための手續をする。

この法廷委員組織は屢々公共改善事業を不必要に遷延せしめる。委員がその報告を準備するに長き日子を費やすに從つて、受ける報酬も多くなるものである故、彼等は好んで左樣するのである。左樣いふことがなくて都合よく運んでも、數百箇の財産の價額を決定し、損傷を受け、又は利益を蒙つた各部分の正確な價額を定め、凡ての建物、機械、他の器具（借地その他之れに類似のものは問はず）を評價する如きは、非常なる仕事といはねばならぬ。之の報告は財産の各部分、その所有者の姓名、改善事業を進行せしむるために、蒙る可き損害、利益の量が、一々詳細に記してあらねばならぬ。又財産所有者の姓名の正確なることを保證する誓書、その他のものも添附してあらねばならぬ。委員の報告を完全にするとともに、その準備に要する時日は、改善工事の性質、範圍に關係することが大きい　該工事の唯一部分の費用が、特別なる課稅から得てある場合なのであるから、委員としても、公衆の利益と地方の利益との額を正確に決定するは、その義務であらねばならぬ。

（七）

右に言つた以上に更に長く公衆の福利に關する計畫を遷延せしむる樣な機會があるのである。故に次の選擧の際に選擧委員をして、公債發行問題の賛否を投票紙の上に一般投票人に記し投票せしむる措置をとらしむる如き條例を市會をして通過せしむることが必要である。若しも投票者が公債發行の權を拒むだ時には、該問題を再び次の選

擧の際に提出せねばならぬ、その計畫を全然放棄してしまはぬ限りは。

法廷委員の報告が法廷に提出されると、法廷は利害關係を形ち造くる凡ての財產所有者に告知する。この法廷の召喚に對する反答は、告知書の發せられた日附より數へて、十五日以前でなければならぬので、之れ以內の返答を許さぬ 若し委員の報告によつて、之が現住者なき財產である時には斯る法廷の措置の未決の通知書面は、四週の間每週一回づゝ發送せねばならぬ。そしてその第一回目の發送は之の召喚に、いつ〳〵迄に返事をせよと定めた日附より數へて、遲くとも卅日前に發送してあらねばならぬ。非現住者の方も返答す可く定められた日附より數へて遲くとも十五日前に該法廷の措置に就ての返答を郵送せねばならぬ。

財產所有者は辯護人を代理として出廷せしめ、法律の下に改善事業に着手する市の權利に反對し又課稅額、損害に對する賠償額の多寡に就て、抗議するの權利が與へられてある。イリノイスの法律はかゝる反對者に、極端に寬容である そしてかゝる法律上の抗議が審問を受くる事件となるとこれは正しく大抵の場合、先づ該案が殘存するか又は滅亡してしまふかを、一擧に決定してしまふ危機存亡的の試驗となるのである。かういふ具合にして、反對者の數、性質、勢力如何によつて、市が改善案に法律上の權利を得せしむる迄の時日は、長くもなり比較的早くにもなる。この最終の決定は、最高法院に於てなされるのである。

該案を合法的ならしむることがすんだ後に、法廷の第二手續が開始さる。即ち法廷委員の決定したる損害、利益の額の正當なるとを賠審官に決定を求めるのである。こゝに又限りもない遷延が起る可能性がある。尤も財產所有者が相互に一致して法廷の決定に安じ、該陪審官の問題とせずして、切り上れば、實際に時日を短縮することは出來得るのである。

財產の各部分は、別々に吟味せねばならぬのであるから、その改善案の影響を受くる財產が八千又は一萬の部分に上る場合には非常に凡てが好都合の狀態の下にあつてさへも、迅速に事件を進行

させることは殆ど不可能である。

他の凡ての法律上の手續と同樣に金錢に關する裁判所の決定は最後のものでなく、滿足しない所有者者は最高法院に訴ふることが出來る。だがこれは最高法院が下位の法院の判決を支へない場合でも、再審問に附すべく該事件を戻す場合でも、別に一層の遷延を加ふることとはならぬ。市がなさねばならぬことの全部は、最高法院が該財産所有者に支拂ふべきものとして命じた金額は、之れが幾何の額に上らうとも、支拂つてあるべく準備することである。

判決が裁判所で申し渡された後、市は改善事業を進行させる爲に九十日間內に其成文選擧を書き送らねばならぬ。是を進行させてゐる間にも尙ほ遷延を惹き起す可能性がある。といふのは、條例を作つてゐる間に其中に思はざる其謬があるとか又は財産の記述の間に誤謬があるとかすると、之迄の勞力を全は致命的のものとなるであらう。それ程手續が進行しておらうが、それは問題にならぬ、これ然水泡に歸して、その手續を再びそも〳〵の始よりやりなほさぬばならぬのである。最高法院がその誤謬の點を發見し、これを審判する時には、其ために進行が甚しく遷延するは明なことである。

實際の建造に着手することの出來る最後の階段は、市が利益を受くる者の課稅を集め、損害を受けた者に賠償を支拂ふことである。市が一箇の財產を公共のために使用し得る前に、その所有者は、法廷がその裁判に於て彼に宣告せる額を支拂つてあらねばならぬ。かくして後に請負人に工事を命ずる順序となるのである。而して最も最低價格の入札者に、工事請負契約の文書を交附する（併し此時でも尙ほ遲延を惹き起す可能性はある）だが工事に對する契約が終ると、計畫委員會の仕事は終るのであつて、他の一般的の計畫案の他の方面に注意を向ける自由が生ずるのである。（つづく）

眞實は萬事の根本なり

一切は才力の最大要素也



住宅

住心地良き居室（上）

醫學士　竹山九朗

竹山醫學士は、大學院にあつて醫化學の研究者であり、又兼ねて住宅研究の篤志家である。曩に住宅研究に就て「大阪朝日新聞」及「婦人の友」誌上に「竹朗生」として發表されて居るが、本編は特に氏に囑して厚意の結果寄稿された次第である。（敬淵生附記）

（一）

日光の直接又は間接に人生に及ぼす影響は光明無量實に量り知るべからざるものにして、吾々醫治衛生の方面より觀るも、日光療法とか、日光消毒とか、普通人々に知られて居る如く、日光が衛生上の方面にも、亦重要なる意義ある事は勿論で、南北の向きに開放されたる室は、一般に東西の向きの室よりは、冬暖かに夏涼しい事は普通日常經驗する事である。

然るに從來の我國の住宅建築を觀るに特殊の場合（寫眞撮影場、手術室、實驗室等）の外、一般には採光殊に日光の直射に對しては無關心のもの

が多い樣に思はれる。充分南向きに建てらるゝ住宅にても態々南方を塞ぎ東西向きに建てられたる家の居室を見る事が屢であるが、如斯は其何故たるかを知るに苦むのである、或人は南向きの室は日當りが良く、疊建具の損傷が多いから、勘定を主とせる家主は其を嫌うとか、併し如斯は已に思想に於て誤り居るのみならず、南向きの室が冬期に日當りがよき事のみを知つて、日光の最も激烈なる夏期に、日の出入方位角が甚しく北に偏する爲め、日光の直射が東西向きの室に甚しい事を識らぬからである。

日光の直射が居室の寒暑に對しても亦衛生上よりも可なり重大なる意義あるに拘らず、從來の住宅建築等に閑却せられて居つた傾があるから、夫れに就て少しく通俗的に宣傳する事も國民保健上必要な事と思ふ、殊に目下は住宅難の聲全國に喧しく、殊に大都市に於て甚しいが、此等の不足は早晩何等かの方法にて建設せられねばならない、實際此日當の事が顧慮せられ、少しでも住みよき住宅が供給せらるゝ參考にもならば結構である、學術上又は專門的の事に關しては夫々別の人に任す事とする。

（二）

先づ春夏秋冬に於ける寒暑の起因に就て考へて見るに、季節により地球上の部分部分が太陽より受くる「エネルギー」に多少のある爲めで、又其地球各地の受くる日光の多少の生ずる原因は地球の回轉軸が地球の黃道面に對して二十三度半（詳くは二十三度二十七分、以下同樣）の傾を有するが爲めである。

而して太陽が赤道の直上に來る時が〻分（三月二十一日）秋分（九月二十三日）即ち暑さ寒さも彼岸迄と云ふ彼岸の中日にて、春季秋季の皇靈祭の行はるゝ日で、其日の正午時（正しくは日南中時、以下同樣）にて太陽の直射光線と、地平面とのなす角（高度と云ふ）なる高度は九十度より其地の緯度を減じたるものと等しいのである、從つて其角の最小となる冬至（十二月二十三日）には

春分秋分の高度より二十三度半を減じたるものにして、最大となる夏至には加へたるものとなる、勿論地球上の大氣の爲めの屈折より起る、濛氣差（地平線時約三十四分）及び太陽の視半徑（約十六分）等によりて生ずる差違は度外視して差支はないのである。

（三）

解り易い樣に東京及京阪神について見ると、東京（天文臺）は北緯三十五度三十九分、東徑百三十九度四十四分で、京都が北緯三十五度一分東徑百三十五度四十五分、大阪神戸が同緯度の北緯三十四度四十一分である、關西及山陰山陽等は大抵同緯度と見做して實際上差支へない、今前記地方の中間緯度なる京都の春分、秋分、冬至、夏至の正午時に於ける高度及其角の Co-taugent の價を示せば

春分、秋分、九十度減三十五度一分即五十四度五十九分

餘切價　〇、七〇〇

冬至　五十四度五十九分減二十三度二十七分即三十一度三十二分

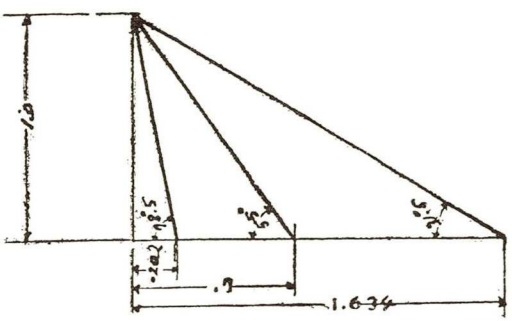
餘切價　一、六三四

夏至　五十四度五十九分、加、二十三度二十七分即七十八度二十六分

餘切價　〇、二〇二

即ち一丈の直立せる棒の正午時に於ける地平面上に投ずる射影が、春分、秋分にては丁度七尺であるが、夏至には僅かに二尺〇二分となり、冬至には實に一丈六尺三寸四分と云ふ事になる（第一圖參照）

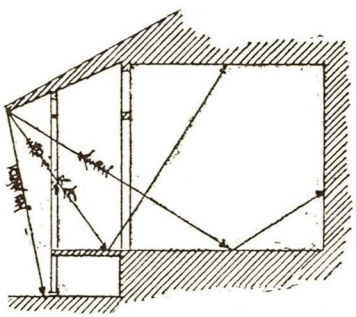
第一圖



今之を普通の日本建住宅について見るに地上より椽まで約一尺五寸、椽上軒先迄約六尺五寸、軒は椽先きより二尺の出とすれば正

南向に開放されたる室にては正午時の直射日光は夏至には椽先へも當らず反射光線さへ椽側天井を約一尺二寸位反照するに過ぎず、至冬には椽先きより八尺六寸餘り室内の方を直射する樣になり其椽側が三尺巾のものとせば疊の上は五尺六寸餘り直射する事となる、室が六疊で二間巾が南面して居れば約疊の半分を照らす事となる、而して反射光線は天井の大部分及び北方壁をも照す事となる。

第二圖



春分秋分には直射日光は椽を二尺五寸照らし、室の天井の高さを七尺とせば反射光線は室内の天井を約四尺四寸位迄を反照する事となる。（第二圖參照）

次に我國の主なる都市附近の緯度を擧げ其地に於ける春分、秋分、夏至、冬至の日南中の高度及其餘切を表とし掲げたるが、前記京都の例にて容易に理解し得らるゝ筈である、猶各地の緯度は多少增減あるも、此目的には實用上次の表にて差支へないと思ふ。

緯度（北緯）（單位度）	該當緯度附近ノ都市	春分秋分日南中ノ太陽ノ高度及其餘切		夏至日南中ノ高度及其餘切		冬至日南中ノ高度及其餘切	
四十九度	樺太敷香	四十一度	一、一五〇	六十四度半	〇、四七七	十七度半	三、一七三
四十七度	樺太豊原	四十三度	一、〇七三	六十六度半	〇、四三五	十九度半	二、八二三
四十三度	札幌、小樽、根室	四十七度	〇、九三三	七十度半	〇、三五四	二十三度半	二、三〇〇
四十一度半	浦鹽、函館、奉天	四十八度半	〇、八八五	七十二度	〇、三二五	二十五度	二、一四四
四十度半	青森、盛岡、秋田、大連	四十九度半	〇、八五四	七十三度	〇、三〇六	二十六度	二、〇五〇
三十九度半	旅順	五十度半	〇、八三四	七十四度	〇、二八七	二十七度	一、九六三

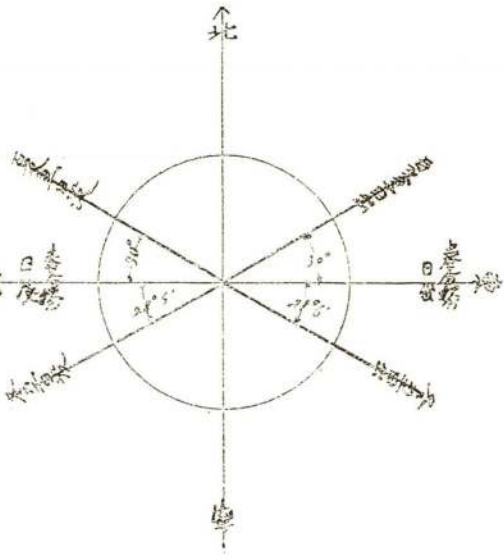
三十八度半	仙臺、山形	五十一度半	〇、七九五	七十五度	〇、二六八	二十八度	一、八八〇
三十八度	新潟、福島	五十二度	〇、七八一	七十五度半	〇、二五九	二十八度半	一、八四三
三十七度半	京城	五十二度半	〇、七七七	七十六度	〇、二四九	二十九度	一、八〇四
三十六度半	水戸、前橋、宇都宮、金澤、富山、長野	五十三度半	〇、七四〇	七十七度	〇、二三一	三十度	一、七三三
三十六度	福井、青島	五十四度	〇、七二六	七十七度半	〇、二三二	三十度半	一、六九七
三十五度半	甲府、東京、横濱、千葉、松江、鳥取、岐阜、靜岡、釜山、京都	五十四度半	〇、七一三	七十八度	〇、二一三	三十一度	一、六六四
三十五度	大津、名古屋	五十五度	〇、七〇〇	七十八度半	〇、二〇二	三十一度半	一、六三三
三十四度半	神戸、大阪、奈良	五十五度半	〇、六八七	七十九度	〇、一九四	三十二度	一、六〇二
三十四度	津、廣島、岡山、姫路、山口、和歌山	五十六度	〇、六七四	七十九度半	〇、一八五	三十二度半	一、五七〇
三十三度半	松山、德島、高松	五十六度半	〇、六六二	八十度	〇、一七六	三十三度	一、五三八
三十三度	福岡、高知	五十七度	〇、六四九	八十度半	〇、一六七	三十三度半	一、五〇二
三十二度半	佐賀、大分	五十七度半	〇、六三七	八十一度	〇、一五八	三十四度	一、四八三
三十二度	長崎、熊本、漢口	五十八度半	〇、六二三	八十二度	〇、一四一	三十五度	一、四六六
三十一度半	鹿兒島、宮崎、上海	六十四度	〇、四八八	八十七度半	〇、〇四四	四十度半	一、一七〇
三十一度	沖繩那覇	六十五度	〇、四六六	八十八度半	〇、〇三六	四十一度半	一、一三一
二十六度	臺北	六十六度	〇、四四五	八十九度半	〇、〇〇九南	四十二度半	一、〇九一
二十五度	臺中	六十八度	〇、四〇四	九十一度半	〇、〇三六	四十四度半	一、〇一七
二十四度	臺南						
二十二度							

（四）

以上は正午時（日南中）に於ける日光の直射及び反射に就て論じたるが、夫れと相關聯して日の出入方位角及び夜明け、日沒の時刻を知る必要がある、併し之は正午時の直射角を知る様に簡單に

は行かぬが、幸に神宮神部署より發行の曆には、東京天文臺に於ける太陽中心の日の出入方位角及び其時刻、其他各地の日の出沒時刻及び氣象統計

第三圖



等詳細に記載しある故之を參照すれば猶參考となる事が多からう、日の出入の時刻は經度及緯度によりて異なるが、日の出入方位角は、經度は勿論、緯度の差違による變化は餘り大なるものでない東京天文臺のものを用ゐても內地、朝鮮等にては實際上差支へないのである。

今次に東京天文臺に於ける春分、秋分、冬至、夏至の日出入方位角及同時刻を擧ぐれば

	日出入方位角	夜明	日暮
春分	北〇度六	五時十三分	六時二十五分
夏至	北三〇度〇	三時四十七分	七時三十八分
秋分	北〇度六	四時五十七分	六時十分
冬至	南二八度六	六時十一分	五時八分

前記北又は南何度と云ふは、東京天文臺に於ける太陽中心の方位角にして、東又は西より南又は北の方へ偏りたるものにして一日中の日の出入方位角の偏度は同角度として差支へない、即ち夏至に於ては日出後及日沒前、暫時は北方の窓よりも直射日光を受け得るのである

以上は勿論地平面に直射日光を遮る障碍物の存せざる場合なるが、山岳や樹木、造營物のある場合に其障碍を避くるにも其遠近高低を測り前述の表を斟酌し、其他の春夏秋冬の氣候を參酌して直射或は反射日光の遮斷若くは採光を爲せば寒暑に對し住みよき住宅を得るに便利であらうと思ふ。



〔講　壇〕

煉瓦屋より觀たる米國の建築材料 (B)

大阪窯業會社支配人
工學士　谷口德政　講

次にフエースブリックは則ち表積であります。日本でも同樣でありますが、良質のものを選び、特によいものは特製、仕上面を美くしくして居ります。然るにこれに滿足せず十年前から張付瓦を造つて居りますが（一ケ月約小百萬）米國には此種の薄いものはありません。のみならず色合の檢査がむづかしいので常に苦心して居るのですが、米國では之れに代ふるに表積の煉瓦を製作して居ます八吋に四吋、及二吋半のスタンダードになつて居る。これを表積半枚積とし居り、フレミッシユボンドの樣なものなく、皆何れも長手の半枚積、時として空積を殘し鐵物で連絡して居る、そして彼等はこれを平氣で行つて居ります。のみならず此表積に使用するは住宅でも事務所でも必ず燒物を用ひ、日本の樣にセメント仕上のものがありません、そして表積の煉瓦は皆氣持のよい氣合を出して居ります。

此等表積の煉瓦製造所は全く普通煉瓦の工場と

は全然別積のものであります。今表積のものを分類致しますと、

一、藥掛煉瓦　エナメルのものは停車場や地下電車の壁に使用して地れど小數である。鹽藥のものは比較的多く褐色のもの、黃色のもの等を造り町々により調和を考へて使用してゐる。

二、藥掛ならざる煉瓦、には赤系統のもの十數種、黃系統のもの十數積あり、又表面を掻き去りたるもの、凹凸あるもの甚だ多し、又針金を使用して表面の光澤を失はしむる方法のものあり、これは上光なく黃、灰色のもの多し、又甚しきは表面を斫りて燒口の味を出したるものあり、此所に到つては寔に燒物の本當の味を含味せるものであつて面白い見方であると感じました。

元來セメントは生もの故美的要素なしといふべきであり、燒を入れる故に其表面の味は生ものとは別積の味であります、人間でも眞に燒の入つた人と生燒の丹治郎式の人間とは比較にならぬ點が多いと思ひます。

表積煉瓦の第一義は出來上つた、色はそも〳〵末であつて元來燒かれたることが本であります。この見地から見るとカットフエーズは内部の眞の味を稱美するのであつて其色の義はいふにいはれぬ味の差があります。

日本のものはまだ充分燒の廻らぬものが多く燒き足らぬ爲めの色の差が多いのであつてつまり間違ひであるとしなければならないのであります、このカットフエーズのものは綠樹の色との調和も何ともいへぬ面白味があります。

又マンガンや鐵を使用しましたもので表面に斑點のあるものがあります、要するに之等のものは皆徹底的に燒くのであつて石炭の高い日本では一寸眞似の出來ぬ所があります。

今赤系統の煉瓦を擧げますと最後は紫となります。

一、ライトレッド　輕赤色

二、ダークレッド　暗赤色

三、レッドブラウン　赤褐色
四、ダークブラウン　暗褐色
五、ライトエヂブチアン　輕埃及色
六、メヂィウムエヂブチアン　中埃及色
七、ダークエヂブチアン　暗埃及色
八、パープル　紫色

就中七、八のものは色を調べること却々困難であり、一本十五錢位となる故に混交して發賣して居る、故に此混合したものは「ミングルド」と稱し舶來を混入せるものあり、此の外に「ブラッシド」と稱するもの及「コランビアン・ブレンド」と稱する赤黄青の本當に焼けたるもの三味を選出せるものあり。

米國にては原料にShaleを切つて使用しつゝあり、日本のものと原料大いに異なる。

此等の表積煉瓦は使い様によつて却々味の出るものなれば使つて欲しいのであります、澁味のあるものにては徹底的に焼かねばならぬのであります、此頃[illegible]型のものを製造して見ましたから參考迄に御覽に入れます。

有孔煉瓦（ホローブロック）は「ブリック」と異なる、今日此「ブロック」には種々の寸法がある、眞四角のものは「プレーンホローブロック」と稱せらる、又組み合せる様なものがあります、又床の陸迫に使用するもので七、九枚連續せるものもあります、又表面凸凹の仕上面になつて居るものがある。



就中組合のものは形を成し複雜のものありて、價格も高く現場にて仕事に困難あり、床に使用するものも複雜な形をなせる故不合格品多く殆んど商賣にならず、これは過去のものであると思ひます。表面凸凹なるRock faceと稱するものは作成する丈にて大建築にはあまり使用せられて居りません。

什うしても今後製作すべきものは平面のものでありませう、此平面のものも殆んど寸法一定せず標準のものなし

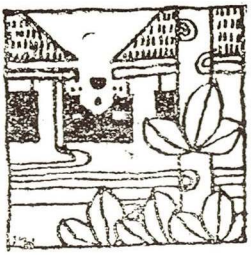
3″×12″×12″　3″¾×12″×12″
4″×12″×12″　4″×12″×12″
8″×12″×12″　10″×12″×12″

12″×12″×12″　4″×8″×12″
5″×8″×12″　6″×8″×12″
8″×8″×12″
等でありますが最も多く用ひられてゐるのは、
3″×12″×12″ と 4″×12″×12″ と 4″×8″×12″ と 5″×8″×12″ との四つであります。尚仕切壁には4″と3″とを使用し、中には二重としてAir spaceを設けたるものあり5″×8″、4″×8″のものも使用して居ります。（つづく）

都市之現狀

先般神戸市に於て開港五十年祭の有つた時、道路取締に就て、大阪毎日新聞へ皮肉な投書を爲た者が有つたと三月十五日の同紙兵庫附錄に掲載て有つたのが餘り面白いから一寸轉載、

神戸開港五十年、日進月歩の繁榮は、入舟出舟數多く、汽車や電車や人力車、荷車、自動車、自轉車と市中は布を織る如く、道路は狹くて不潔にて　人道車道の區別なく、左側を歩めば突當り、交番便所に砂利置場消防屯所は道中に、狹い道路は尚狹く、狹い道路の四ツ角や、殊に山手の阪道の曲り角には注意せよ避ける場所なき狹道や雨天の時の惡道に、人寄場所や踏切や、電車止まる左り側、自動車通行は危險なり富豪許りの道ちやなし、自働車乘る人注意せよ　道に品物置かぬ樣、但し交番便所は除外例、幼兒遊はす場所もなく、子守つけるに錢はなし、成金許りの場所ちやなし、貧乏人は如何にする、道路の修繕結構だが濟めば直ちに鐵管や、電線瓦斯管埋めるため、堀り返しては惡く成し、砂利を撒いては歩行をば、一層困難になさしめる、政府の人の氣が知れぬ、道を設すは人でなく人民道を堅むれば、毀して廻る政府あり。之れぢや日進月歩と云はれない、開港五十年の記念には、御祭騒ぎは止めにして、道路の整理を第一に道幅廣く其中を、人道車道の區別して、交番便所に砂利置場、消防屯所を引込めて幼兒の爲めに小公園、自動車通行を嚴重に、夜中運轉の爆音は安眠防害なり、非常の時の其の外は、夜中の通行を禁ずべし。人出の場所や踏切や、電車止まる左側、通行堅く禁ずべし、荷馬車の通行を嚴重に、多數荷馬車の續く時、必ず間隔を明ける樣、人の頭行の邪魔になる、氣を付け給へ當局者。神戸市民の爲めのみか、人民保護の第一義、忘れ給ふな當局者、人民あつての政治なり。



「業界」

我等は進歩的理解力の所有者たらねばならぬ

合名會社山本組代表社員
土木建築業　山本辰五郎

無意味に新しきを欲し奇を衒ひ警言を須ふるにあらざれど駸々として止まざる文化向上の潮は私等請負業者の身邊をも圍繞し斯業の進歩要求力は轉じて私等請負業者の自覺を可なり力強く要求するに至つた。

私等が眼を擧げて顧みれば
進歩向上の要求は間斷なく

私等の頭上に閃いてゐる。此要求の光に私等は儼然目覺なくてはならぬと云ふ直覺を得るのである。」片岡博士は常に宣傳して曰く「斯業は文明の消長を無韻のうちにもつとも雄辯的に物語る文明の機軸である。反射鏡である。凡ゆる文化の所産は建築物に抱擁せられてゐる、故に建築物は重大意義を有するものである云々」と實に建築物の社會的に人類生存的に重大意義を有すべきは贅するまでもないが隨つて私等請負業者の責務も亦重大であらねばならぬ。この重大なる責務を如何に

せば果し得るか、此處に考慮する毎に私等は一歩は一歩へと自覺の途に進み文明的業者たる資格の所有者たらねばならぬ。私等が啻だ譯もなく人類總ての問題は物質によつて解決さる、故に富者たらざるべからずと做し、金儲けの外には道德も倫理もない釋迦や孔子さへも鐵鉢を片手に持たなければならないんだと赤裸々に物質的思想にのみ拘泥せんか私等の將來は如何なる運命に陷るであらうか。來るべき運命は文明の道程から廢除される制裁を甘んじて享ける外はあるまい。斯る自然の歸趨に自ら求めて踏み迷ふ業者は今日に於ては恐らく一人だにあるまい。私等は等しく心中深く顧みるところありて、文明的業者の全資格者たるべく期しつゝあるのであらうか、蓋し問題である。

然らば如何にして世の進歩と併行し否業者本來の使命

を果さんとするか、それには種々なる改造も必要であらう、が併し、舊套を捨てゝ改造の實を擧げんと欲せば、先づ、自ら新らしい智識と迄行かぬとも今後世の進歩に伴ふて必然的に改造さるべき事業に對する理解力の所有者たらねばならぬ。その目的を達せんには先覺者たる各技術家の鞭韃を仰ぐことも必要だし又先覺者の著書や講話に見聞を廣くすることも必要である。更に歐米建築界の實狀を調査し研究するも大に必要であらう。我國は比較的若き文明の所有者ではあるが我建築の進歩著るしきものあるは、先覺者たる幾多の技術家が大なる研究と努力とを以て指導し鞭韃した賜である。されば直接其事業の遂行者である請負業の進歩は世界の建築界に肩比するに足るか、尠くとも世界建築界の大勢に順應しつゝあるかは將來進歩を圖る上に眞摯に考慮すべき問題であらう。如何に技術家が進歩した方針の下に設計せられるとしても、其事業を完成せしむる請負業に於て進歩するなくんば折角の名設計も充分に其の力を現はすとは至難であらう。此故に私は請負業（即ち事業組織職工狀態其他總てを指す）に於て準備あり、根底あり、理解ある進歩を遂げなくてはなら

ぬことを痛切に感じる。このために歐米建築界の實狀を調し研究することを最も必要と信じる。さればとて、我國請負業者全員悉く海外を視察せんは不可能のことであるから、先覺者に就き或は視察者に就て文明國の建築界を理解するのが肝要ではあるまいか。例へば歐米建築界を視察歸朝せられたる

片岡博士を初め設樂渡邊各技師に就て其指導に俟つは

私等の如く比較的敎養に乏しい者にとつては非常な利益である。樂氏設は數年前視察せられて見聞研究を深くし、今亦渡邊工學士の歸朝せらるありで、更に我國都市計畫の大家として博く其名を謳はるゝ片岡博士の視察歸朝せらるゝあり、斯る先覺者に乞て、請負事業は今後如何に改造せば時代に適應すべきやを、其指導に預るは私等の唯一に執るべき方策なりと信じ、亦片岡博士を初め先覺者は機會ある毎に御指導の實を示されむことを望ましい次第である。飜つて時代の進歩と倶に、大なる自覺の下に進歩向上を圖りつゝ眞に文明的業者としての資者獲得に意を須ひつゝある者も尠くない。之等の意味に於て近來我等同業者中の先輩であり先覺者である人々が戰後の歐米建築界視察のため渡航せられることは實に欣幸の至りである。

昨年六林義雄氏竹中藤右衛門氏の歸朝を見橋本政吉氏

亦去月遠く海外に出發せられた、斯くて之等の人々が彼地に於ける建築界の實狀を視察せられた結果、自然彼地に於ける長所を學ぶこととなつて、亦それを私等が學ばんとするので、數名の視察は斯業者全員に間接にせよ種々なる範を示すのであり、建築界より一人でもより多く海外視察の爲に渡航せられることは、それだけ建築界の進歩を圖る所以なりと信じ、更にその視察者を中心にして私等は文明へ文明へと進まなくてはならぬ。卽ち、私等の時代的に進歩せんとする一道程であるからである。斯くて私等は先天的に附與されてゐる斯業者本來の使命を果さなくてはならぬ。



〔資料〕

英國住居法（三）

大阪市都市計畫部
囑託　石原憲治

第七章　『ロンドン』

「ロンドン」の地位は一般の州の地位とは異つてゐる、何となれば「ロンドン」州參事會と云ふ特殊の立場があるからである。「ロンドン」市は普通評議會（Common Council）が住居に關する權力を持つておるが此の市部を除いては住居に關する權力と義務とは「ロンドン」州參事會と市區評議會（Metropolitan Borough Council）とに分たれて居る。

新住居法は前二者の間の權力と義務とを明確にせる條項が含まれて居る。

一、新家屋の供給

區（ボロー）內及び區內の土地の上に於ける家屋不足に備へる新家屋の供給は區評議會（Borough Council）の仕事である。或る場合には「ロンドン」州參事會は區以外の地域の必要に應する爲めに市區（Metropoliton Borough）內の土地の使用に關する計畫を保健大臣に委任することを得る。

「ロンドン」州參事會及び「ロンドン」市の普通評議

會は新家屋又は細民窟除去に關する計畫の實施を互に共同して行ふことを得。

二、細民窟及び不適當なる家屋

大なる面積の細民窟を除去することは「ロンドン」州參事會の義務である。

不適當なる家屋又は障害建築及び小面積の細民窟に關する義務は（一八九〇勞働階級住居法第二類より）主として區評議會にある。併し州評議會は區評議會が怠つておると認めた場合又二區評議會に代つて實行することが出來る。

第八章　自己ノ家屋ヲ購入スル人々ニ對スル補助

一、地方官憲は彼等が購入し又は建築したる家屋を賣ることが出來る。

地方官憲は保健大臣の同意によつて彼等の購入又は建築したる家屋を賣ることが出來る。又其の價格が賦拂に依つて拂はれ、又は其の價格の一部が屋敷の抵當によつて拂はれることを同意することが出來る。併し斯くの如くにして賣られたる家屋は如何なる人に依つても利益を取つて彼れの雇人を住居せしめる爲めに用ひられない。

二、小住家收得法による貸附

一八九九年の小住家收得法（Small Dwellings Acquisition Act, 1899）によつて地方官憲は區域内に住居する如何なる者にも彼が住んで居る家又は住まんとする家屋の購買を助ける爲めに金を貸すことが出來る。

元の法律によれば地方官憲は各四百磅を超過せざる家屋の購買に對してのみ其の價格の80%迄を貸すことが出來た。

勿論價格の大暴騰は此の事項に大なる變化を來した。而して大にして且つ善き家屋の所有を便宜にすると同時に此の暴騰に應ずる爲めに、新住居法は甚だ重要なる變化を示しておる。第一に地方官憲は各八百磅迄の家屋に金を貸すことが出來る。第二に其の額は價格の85%迄可能である。貸附の利率及び償還の期間は或る條件に從つて地方官憲と借用人とが契約することになつておる。

第九章　地方官憲ハ直ニ何ヲ爲スベキカ

一、家屋の需要の調査を爲し、且つ之れに應ずる計畫を準備すべきこと。

新居住法に依れば各地方官憲は勞働階級住宅地域の要求を稽へ、他の團體又は人々に依つて此の要求を充たされない限り、右の要求に應ずる計畫を提出する。

地方官憲は次に之れらの地域に於ける狀態を調査して必要なる報告を作成して充分なる準備をなし置かねばならぬ。

同時に彼等は住居計畫を迅速に進めなければならぬ。已に多くの計畫が地方官憲から保健大臣の許に集まつておる。併し改良を要する家屋が甚しく不足しておることを記憶しなければならぬ。

調査は單に家屋の不足のみならず、細民窟及び住居に適せざる家屋の問題をも取扱はねばならぬ。現在最も必然なる事は家屋を實際に直に建築することである。他の多くの理由を除いても、何故に斯くしなければならぬかと云へば、冬季に入る迄に晴天の日の間に出來る丈けの多くの仕事をしなければならぬからである。夫故に地方官廳は實際の建築を始め且つ出來る丈け早く進歩せしめる爲めに、已に彼等の手許にある計畫及び特に進歩してをる計畫を進めなければならぬ。

多くの塲合官憲は仕事を始める前計畫が總ての程度に於て裁可されるのを待つ必要は毫もない。排水街路の敷設及び之れに類似のものは敷設が裁可され、此の工事の入札が是認されると直に始めることが出來る。遲滯を避ける爲めに此の方法に從ふことの重要なることは如何に力說しても足りない。

又實施前に計畫の全部が完成するを待つ必要はない。地方官憲は二十乃至五十家屋位の數を以て計畫を完成して此の部分に對して仕事を初めることが出來る。

保健大臣は住家便覽(定價二志六片)を出版してをる、之れは「ロンドン、ウエスト、セントラルニキングス」街帝室文房局(Stationery Office, Imp

erial House, Kingsway, London W. C. 2) に於て得られる（又は書店にて得られる）是によれば地方官憲が新住宅の計畫の準備を如何に進むべきかを詳細に示してをる。夫等の最も重要なる點を以下に述べる。地方官憲は彼等の準備に於て建築家及は他の專門家の相談を受けるのがよいと云ふことを力說する必要がある。之は單によき計畫が得られると云ふ許りでなく又經濟の上から考へても望ましきことである。專門家に依つて生ずる經濟は彼等に拂ふ償額よりも遙に大である。

二、住居委員の任命

第一に地方官憲は住居委員が未だ任命されて居ないならば、先づ住居委員を任命する、而して此の委員に彼等の住居計畫に關する仕事を出來る丈け多く委任する。一八九〇年の勞働階級住居法第八十一條は斯くの如き委員の任命を規定しておるが、金を借り課稅をなし又は契約を結ぶ權利の委任は許されて居ない。住居委員の契約を結ぶことを防ぐ條項は新法律には廢止されてある。現在地方官憲は住居委員に官憲以外の人々を選擧する權利を與へられておる。又是等の人々の中數名の者は婦人を任命するのがよい。（つゞく）

北米郊外の家（其の三）

十六頁より續く

殊にポッピイは花壇植として他に比類のない輝ける色彩と優しい容姿とを供へ最近栽培せられた新種の中には全く賞讃の極みを盡したものもある。然しながら此花は夏中開花の絕へることのないやう順次の播種が必要である。

ポットマリゴールドとポーチユレーカスは多くの草を生ずるを以て花園の地を埋めるに適當な一年生の花である。此等の草花は盛夏に移植を行ふのであるが發芽した時は雜草を止めるやうな事のない樣に注意が必要である。ポーチユレーカスは砂地で日當りに曝しておくのに此上ない種類の一つである故他の花が育たない淋しい空地で華麗さを發揮する。然しこの種子を育てるには暖い空合ひが訪れる迄に播種するのは間違である。

もしも諸兄が是等の花園に芳香の漂ひを望まるゝならばナイトブルーミングストツクの花類を撰ばるゝが良い。是等は晝間日光の輝く間は美しくは見られないがやがて影の歩みが深く夜の靜けさが花園のあたりに訪れると直ちに他の及ばない爽快の薰りを漂らすのが特徵である。ニコチアナも又恍惚を誘ふ芳香を秘めてゐるナイトブルーミングフラワーである。ミクノネツテは順次の播種を必要とし冷やかなる土地を好みスカビオサは一年生で切花としてもウオールフラワーとしても優良なるものである。

（六十頁へ續く）

××『借家法』と建築法規（上）

郊　邨

借家法は、今議會に於て確定案と成り、去る四月七日法律第五十號として發布になつた其施行期日と施行地區の指定は、同法第九條及十條を以て勅令に讓つてあるから、單に實體法が出來上つたといふ迄で、運用法たる處の施行令其他の手續法が出ない以上は、借家法の實効殊に一種の社會政策としての價値を秤量する譯にはゆかないが、何にしても、是れありてこそ、我邦の建築法規に完備せる系統が出來、建築法規制定の眞髓とも見るべき社會改良主義の主要なる對案が具はつたことゝなるのである。蓋し、諸般の建築法規中、『都市計畫法』を中心として、是より放射線的に出來た處の『都市計畫法施行令』、『市街地建築物法』同『施行令』『施行規則』同『施行細則』の如きは、其中心が、都市を、單に都市自體としても又都市民の生活機能體としても、最も合理的なる都市を形成せむとするにあるが故に、それ等の對象の、主として都市若くは都市民の有形的生活方面に在ることは、件の諸法規を通覽せば、思ひ半に過ぐるものがある。されど、今日世界の諸都市を通じて、住居問題に關する著しい現象の一つは實に、借家問題其ものである。何故ならば、國の人口が增殖すれば、寧ろ下層生活者の率が殖へるように、都市の人口的膨脹は、他面に於て、借家居住者の增殖であり、殊に、密集生活者又は群居生活者の增加である。而して、彼等の都市生活を絶へず威嚇し壓迫するものは、借家の增加が彼等人口の膨脹に伴はざるより生する處の、諸多の不合理な事實である。

例へば家賃の暴騰、家主の横暴、餘議なき群住より生する惡德、生理上の威迫等數へ來れば果てしもない。我大阪市及事實上の大阪都市

と見るべき所謂接續町村に於ける現狀は、既に斯の事實を雄辯に物語つてゐる。少々總計は古いが、年許前に於ける亞米利加主要諸都市の狀況は既に二十斯うである。即ち、紐育市では、其人口の約八十八%、マンハタン市では、九十四%、ブルックリン市では八十二%が孰も借家居住者である。少い處でも、ボストン市やフオールリバー市、ジヤーシー市やメンフキス市で各其人口の約半數以上即ち五十四%が借家人で、最も家屋所有者の多いと云はれてゐる處のデトロイト市すら、住民の三九%が辛うじて自己の家屋に住むでゐるとのことである。マンハタン市の或一廓では、一萬三千六百六十二家族中で、十四家族だけが自己の家屋である、といふ狀態である。

或る者は、『近世の都市は借家人の都市だ』と謂ふてゐるが、それは間違でもない事實である。要するに、近代の都市は、其住宅問題に於て確にマルサシズムが行はれてゐる、と云つても可い。即ち、マルサス氏は、人口問題の對案を食料問題に取つてゐるが、唯斯の眞理斯の鐵則が、人口殊に都市人口問題に對する住宅問題として、前者はマルサシズムの所謂幾何級數的の增殖に對して、後者は、所謂算術級數的の增加、否それ以下に過ぎない。而して、人口增加に對する食料問題が事實に於て其鐵則の如く逼迫せざるは、人口增殖の調節とも見るべき幾多の出來事、例へば、疫病戰爭、自殺、避姙、災禍抔あるからと云つたように、將來とても、奈何に住宅問題が逼迫せばとてまさか穴居者も天幕生活者も出まいが、只彼等を驅つて密集生活の密度を愈々濃くならしめ、其結果は、道德的にも生理的にも忌むべき缺陷を來して、竟には、人口の斯る自然？調節により家屋問題が調節せられる、といふ不合理な、而も慘鼻な事實を產みはせまいか。

斯樣に、借家問題は都市問題としても重要な位地を占めてゐる。幾多の建築法規は保健衛生を主とする借家問題の形成的緩和法とも見られるが、其住居生活としての保安又は保健上の福利を確實に享有し得る基本は、此の借家人の住居に對する法律關係である。斯の基本が確實に定ま

らなければ、奈何に凡ての方面に合理的な住宅と雖も、居住者の多くは、即ち――借家人は――恒に其生活を脅威されて、當然權利的に享受すべき福利すら受け得られれい慘めさを免れない。されば、私は、今此の『借家法』に就て、所見の少し許りを誌して讀者の參照に供し度い。

▼▲債權關係と物權關係　借家法第一條に於て、借家人の爲著しい有利な事項を創定されてゐる。それは、從來建物の賃貸契約は、單に債權の關係に過ぎなかつた、卽ち、債權は、唯其當事者だけの關係で、而も、當事者間の或行爲若くは不行爲なる意思關係のみであつて、第三者たる當事者以外の者は、只之に對して不可侵なる消極的義務を有するに過ぎないのである。然るに、借家法は、舊來の斯の關係を變じて、物權としての關係を有するものと、其法的權威を附與したのである。物權とは、物を目的とし、物に關する權利であつて、其物を所有し又は占有するといふ事實が、何人にも對抗し得るのである。――勿論物權にはそれが唯一の効果ではないけれども、包括的に云ふならばソウである――。併し、此の借家法に於て、由來債權關係なものを物權關係と認むるからには、其處に民法第百七十七條の規定との關係が起る。即ち、同條には『不動產ニ關スル物權ノ得喪及ヒ變更ハ登記法ノ定ムル所ニ從ヒ其登記ヲ爲スニ非レハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス』とあつて、要するに、物權の對抗は登記主義に據つてゐる。借家人に關しては之を奈何にすべきか問題である。元來ならば、借家契約の都度此の登記主義に據るも差支へないようなものだが、事實、借家人としては、到底耐へ得ない事でもある上、貸主と借主との地位的關係は其處に諸種な弊害を生じて、折角の借家保護法も充分なる効果を發揮し得ない事となる。茲に於て、件の物權に關する一般原則たる登記主義より除外し、只『建物の引渡し』を以て、何人にも、殊に、引渡し後其建物に對して物權を取得した者にも對抗し得ることゝなつてゐる。其『引渡し』といふ事は、學理的に云つたならば研究すべき問題であるけれども、所詮は、借家人として其建物に支配權を行使し得る事

實關係にあつたら可いのである。そして、斯の「引渡し」といふ事は、等しく民法物權の規定に依り、一つの占有の事實即ち占有權としての關係をも認めたものと云つて可い。是等の規定は、確に借家人に對する最も著しい保護規定である。

▼▲物上負擔と借家權　借家法第一條第二項は、貸借の目的物たる建物に對して賃貸借の契約、即ち前記物權の設定ありたる以前に於て、既に其建物に對して所謂物上負擔のありたる場合、賃借人が斯の事實を知らずして賃貸契約による物權の設定を爲したるとき、借家人に對して最も有利なる保護規定を設けたのである。即ち、斯の場合民法第五百六十六條第一項及第三項の規定を準用することになつてゐる。照らば、其五百六十六條一、三項は奈何に準用されるか、といふに、先づ、同條は『賣買ノ目的物が地上權、永小作權、地役權留置權、又ハ質權ノ目的タル場合ニ於テ買主カ之ヲ知ラサリシトキハ之カ爲メニ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサル場合ニ限リ買主ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得其他ノ場合ニ於テハ損害賠償ノ請求ノミヲ爲スコトヲ得』とある。右の内地上權、永小作權、地役權は、孰れも土地を對象とする處の物權であり、留置權及質權は、共に動產を目的とする處の物權である。故に、家屋なる不動產を對象とし、而も其實質は一種の債權關係に過ぎない賃貸契約に對しては、勿論右の條項が當て箝まらない。然らば、其準用は、右の條項中、借主よりする『契約ノ解除』と『損害賠償ノ請求』是れ丈けである。而して、契約の解除は、賃貸契約以前に其家屋が賣買の買約物と成つてゐた爲、賃貸借を爲したる處の『目的ヲ達スルコト能ハサル場合』に限り、其他の場合、例へば、賃貸を爲したる處の目的を達することは出來ても、完全に其目的を達し得ない場合、或は其使用權の行使に何か障碍を及ぼす抔の場合は、只『損害賠償ノ請求ノミヲ爲スコトヲ得』る外はないのである。併し、是には亦一つの條件がある。それは、民法第五百六十六條第三項の規定がそれで、同項に據れば『契約ノ解除又ハ損害賠償ノ請求ハ買主カ其事

實ヲ知リタル時ヨリ一年以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス』との條項を準用せらるゝが故に、借家人の場合は、賃借人が、右に誌した處の契約解除又は損害賠償の請求を爲す原因となつた事實を知りたる時より、即ち其事實の發生は奈何に早くとも、此の事實の存在を知つた時より一箇年間に、契約解除の意思表示又は損害賠償の請求を爲すことを要するので、約り、所謂短期の喪失時効を認めたのである。

▼▲同時履行の規定　借家法第一條第三項は、更に、借家人に對して、件の契約解除並に損害賠償請求權の行使に就て、一つの保障的規定を設けたそれは、民法第五百三十三條の規定を準用することであつて、同條は、契約の効力に關する規定として『雙務契約當事者ノ一方ハ相手方カ其債務ノ履行ヲ提供スルマテハ自己ノ債務ノ履行ヲ拒ムコトヲ得但相手方ノ債務カ辨濟期ニ在ラサルトキハ此限ニ在ラス』とある。而して、斯の規定の準用は、要するに、賃借人が家主に對して契約の解除を爲したる場合、例へば、其家屋に對する敷金若くは前拂家賃の返還を求むるに、家主が其履行を爲さゝる間は、確實に其家屋の返還を履行即ち明け渡し等を拒み得る。又、損害賠償の請求を爲す場合に、家主が其履行を爲さゝる間は賃借料の支拂ひ、或は敷金の提供等を拒み得るのである。要するに、借家人と家主との其家に對する債權債務の關係は、原則として、所謂同時に履行の權義關係である。其他、借家法第五條の『造作買收請求權』同第七條の『借賃の增額又は減下請求權』を行使したる場合にも斯の規定を準用し得る。

▼▲賃貸借の繼續　借屋の賃借は、其實質が一種の債權關係であるが故に、縱し賃借主は替はらずとも、其家主が轉賣其他の事實によりて替りたる場合、本來ならば、其賃貸契約は一旦終了し、縱令前賃借主が依然其家屋を占有するとも、後の家主に對しては、其占有事實だけでは何等の權利關係を有しない。否な寧ろ却つて不法占有の關係を生ずるに到るのである。されば、後の家主に對して更に賃貸關係を維持せむとするならば、其賃借主は、之に對して、新に相當の意思表示、即ち契

約を要するのである。又、借家法第一條第一項の規定に依り、賃借權を一つの物權としても、別に何等の契約なき限り、家主と交代又は期間滿了と同時に其物權關係は終了して、只單純なる占有權の問題が生ずるのである。然るに、借家法第二條は、借家人の斯の不利なる關係を除く爲に、一つの條件によりて、賃借人は、縱し其賃借契約が期間の滿了に由り、或は家主の交替に由りて終了するとも、賃借人が、其家屋に上に、依然として使用又は收益を繼續する場合に於て、賃貸人が遲滯なく何等の異議を述べなかつたときは、前の賃貸借と同一な條件の下に、更めて賃貸借を爲したものと看做すのである。但し家主としては之に對する反證ある場合斯の規定に勾束せられないのは、勿論な事である。是は、要するに、其使用又は收益の繼續と之に對する異議の無表示なる事實を以て、當事者間に、所謂暗默の意思表示を爲したものと認めたので、是は、元來ならば、其事實のありたる場合に於ける法理的解釋問題であるが、借家法は、斯の解釋問題を一つの法條として揭げ、而して、原則としては、賃貸契約の更新を認めたゞけそれだけ借家人に有利な點である（つゞく）

五月雨の草繁れるや大御城み濠に居りて草を刈る舟

原稿紙に象徴する生活

……『原稿生活物語』の三……

E・K・S

原稿生活と虚偽な生活

左までに何の興趣を覚へず、些の感激をも有たない仕事に、恰當、痩せ馬に重も荷を積むで鞭つよう、『生活』てふ鞭を振ふて、吾れと吾が心を鞭ちつゝ、兎にも角にも仕事に引き摺られて往くのは、現代に於ける人々の多くに見る生活上の事實ではあるまいか。要するに、其處に、眞實な自分といふものゝ表はれがない、自分を何處迄も延長し、何處迄も創造して往く處の、希望の輝がない。謂はゞ、生理學者の献立表を唯一の信條に、營養價を攝らうとするようなもので、個性的な食味も嗜好もあつたものでなく、胃の腑にさへ詰め込めば生きて往かれるといふような生活ではあるまいか。されど形態の上から見た無數な生活中、原稿生活に到つては、其作物の價値は兎も角、恐らく方便生活としてのそれは、到底爲し得られるものではない。苟も、原稿紙の一線一劃に文字を抛り込む程な人は、拙かれ巧まかれ、自分の思想を文字に綴る業べは知つてゐる、けれども、下世話の所謂『無い袖は振れぬ』で、思想の湧き出ないものは、奈何に苦むでも酌み出す譯にはゆかない。それこそ、其處に些の方便といふものを容さない。縦し思想の泉が湧き溢れようとも、濁りの湛へは、奈何な銘器に酌み採つても、矢張り濁りの色が何處かに失せない。若も、此の虚偽と方便な生活の多い現代に、眞實な生活といふものを索し出すならば、恐らく、原稿生活といふものは、確に其一つであらう。わたくしは、一つの相當尨大な或雑誌の編輯主任として多年其衝に膺つてゐた外、某々三種許の雑誌にも筆を執つてゐたことがあつたが、貧

弱ながらも、毎月々々萬偏なく其責めを果すことは却々以て氣樂な業ではなかつた。所謂藝術的生活の純理論でも聽くがよう、ほんとうに思想の泉みの湧然として溢れを見るときにこそ吾が文成れり、といふような、實は暢ん氣に構へ込むでゐられない、吾が『生活』といふ事と、編輯締切てふ之等の絆は矢つ張り或程度迄吾れに虚僞の生活——心にもなき原稿を強ゆるのであつた。ア、其苦しさよ、『産みの苦み』！　幵は有るものゝ産まれ出づる苦みだが、無いものを産まむとする其苦みに到つては、説明するも野暮の沙汰である。世の人々の多くは『産みの苦み』程な良心の苛責なくして、いや『是が自分のほんとうな生活だらうか』との省察すら無くして、實は方便と虚僞　生活に恬然としてゐるようだが、少くとも、わたくし共の原稿生活に、方便と虚僞を産み出さうとするこそ、一層な惱みである。併し、有り体に申さば、わたくしは、恰當、世の所謂藝術家が、たつきの方便には、一厘一毛の端しをも爭ふ處のペンと算呂盤に己が生活を託すよう、原稿紙に墨をぬたくつて心にもないものをパン代ふに代へた事もあつた。

由來描き醜きわたくしの原稿も、斯うなつて覽ると、何んたる一段の描さ醜さであらうか、吾れ乍ら、吐き出すような心地が爲た、そして、わたくしは、何んとも名狀し得ない一種の不快さに厭さられて、而も之を忍ぶ情け無さよ、斯くて、わたくしは世の生活といふ事の前に、今更ら乍ら、つく〳〵と考へさせられざるを得なかつた。

藝術生活と『稼ぐ』生活

ウキルアム・モリス氏や、エドワード・カーペンター氏、乃至エルザア・ジー・ペンチー氏抔は、『生活の藝術』殊に『勞働の藝術的生活』といふ事を、我等精神的勞働者たる原稿生活者にも誨へてゐるが、ほんとうな價値の標準を取り違へた『社會』といふものが『生活』てふ鞭を擧げて恒に我等に迫つてゐるのだから、原稿生活者の仕事にも、精神と物質の兩方面に餘裕もなければ、餘りに潤ひもなく、兎もすれば、世の方便者流と軒を並べねばならない塲合もあるが、前に誌した通りに、その方便其ものが却々に惱みと苦みの裡に生きてゐるのだ。左も

なかつたならば、なりはいの鞭に強いられたる粗造濫作、矢つ張し方便生活の陰は何處かに附き纏ふてゐる。我邦の原稿生活者に屬するアノ大家なるものを見るがいゝ、所謂『稼ぐ』なる動詞は、少くとも、一箇月幾十頁を書かねばならぬ、といふ其生活の代名詞ともなつてゐる。其處に何んの藝術的生活があらうぞ、何んの眞全な自我があらうぞ我等精神的勞働者も、筋肉勞働者と等しく社會問題の主要な對象となつてゐる事は、今更いの問題ではないけれども。恒に理想を追ひて理想に生くる生活までが一塊のパンに惱むようになつては、ペンチー氏やカーペンター氏抔の『藝術的生活』觀も、其蔭の薄いよっな感がする。幸に、わたくしは、超越的一つの或強き觀念にわたくしの生活の中心を把つてゐるから、わたくし自身としては左までの問題ではないけれども、是を外にした現代の原稿生活者の生活は、奈何に呪はしき事ではあるまいか。

編輯生活のヒルム

わたくしの物語りのシーンを少しく變へてみよう。それは、先づ、雜誌編輯の責任者としての多少な苦心を語つてみたい。申すまでもなく、雜誌其ものには無數な種類がある、其無數なものを通じて、單に雜誌といふ上から、之を質的に區別すると、凡そ二た通りに分けて可からう、それは、研究と宣傳（スタッヂイ　プロパガンダ）とである。研究を主とする雜誌ならば、申す迄もなくオリヂナルが其生命である、其處に何等の附帶條件を要せない、極端に云はゞ、只其原稿を間違ひなく活字にしたらそれでよいのだ。隨つて編輯者としては、只原稿蒐集の外左しての苦心を要せないけれども、宣傳を主とする雜誌に到つては其處に幾多の人知れない苦心を拂はざるを得ないのである。なぜならば、宣傳其ものゝ必然の順序として、『讀む』といふ一つの衝動を與ふべく讀者の心理的條件を稽へなければならぬ。それには、內容でも外觀でも單にオリヂナルではいけない。それには種々の條件を要するが、各種な審美的方法を施す事も、努めて興趣ある、又は注意を惹き易い小題目を掲げ、乃至は、活字の與ふる刺戟の按排抔、其處に餘程の苦心を要する。殊に、所謂

『見出し』を附する業ざに到つては、餘程の技巧と云はざるを得ない。就中、見出しの撰擇其ものゝ技巧に先ち、其用字の數にも最も心理的關係を考慮せなければならぬ。例へば、奈何な號數の活字でも、其羅列されたるものに對して、讀者の眼に印象される瞬間に於ては、先づ四字しか眼に入らないのは心理的原則である。そして、是が其見出しに對し、延ひては、其讀みものに對して興趣即ち衝動を與ふる第一序となるのである。されば、見出しの一字句を成す中の、最初の四字以内に最も見出しの用字上の考慮を拂はなければならぬ、と思ふ。是は僅に一事例を誌したのだが、要するに、編輯者の斯る苦心は、恐らく想像の外である。若し夫れ、相當價値ある原稿蒐集の苦心に到つては、大概な編輯者の鬼門たらざるを得ないのである。賞金幾等といふ懸賞附の原稿にすら、ソウざらに好獲物のあるものではない。況して、毎月相當頁に相當な價値あるものを詰めむとするに到つては、餘程の努力を捧げねばならぬ。例へば、一箇月の編輯計畫成りて原稿を囑するにしても、縦し二三箇月の蓄へあるにしても、原稿蒐集の努力は片時も止す譯にゆかない、然らざれば、流れ絶へざる水の手を絶つようなものである。斯くしても、寄稿者としては、勿論それが唯一の仕事ではない、締切の期日に、其約束の履行されないとて、必ずしも責むべき道理なものでない。縦し責めたとて何よりも先づ此の番狂はせ斯の計畫の破綻を奈何にせむか、との實際問題が編輯者の肩に掛つてゐる。されば、一旦寄稿の約束あるとも、編輯者としては恒に何かの形式に於て彼れと接觸を保たざるを得ない。殊に、編輯者の苦が手は、編輯計畫の中に在る寄稿家が、土俵際わ迄引つ張り出して背負ひ投げを遣る一事である。わたくしは、既往幾年の編輯生活に、斯る苦汁を呑まされた經驗は、決して一再でなかつた。是は確に編輯者の一大恐慌である。併し、それ許ではなく、幾多の斯る恐慌來に會して、編輯者は其處に處すべき幾多の切り抜け策がある。要するに、貧乏人の米櫃ではないが、縦し一編輯に有りッ丈けなものを竭くし、扨て次輯を奈何にすべきか、との無一物と雖

も、又件の如き計畫を裏切られた事實ありと雖も、休刊や延刊のぶまな事はせない。其處には、相當誌面の權威と體裁を維持する程度に於て實は編輯者のからくりがある。それは何？、まあーそれ丈け誌して措かう。要するに、雜誌編輯、即ち一つの雜誌を拵へ上げる事は、所詮一つの藝術である。即ち一冊の雜誌を一箇の作物として見れば、其處に編輯者の個性が陰約の裡に動いてゐる筈である。雜誌には、勿論其主義方針の大極は存じてゐても、其大極の裡に一冊の雜誌を拵へ上げる事が既に創造の行爲である故に、凡ての創造に通ずる約束、即ち創造者の個性は奈何にしても其影を掻き消す譯にゆかない。わたくしは、今或る雜誌の編輯を現實に負任してゐる、そして、わたくしは、是を單なる仕事、義務てふ鞭に追はれてゐる仕事とは思はない、其雜誌が何人のものであらうとも、わたくしは、編輯といふ事、雜誌を拵へ上げるといふ事に深刻な興味と多少な自信を有つてゐる。毎月出來上る雜誌は、吾が最善の努力を捧げてゐる一つの作物として、縱し批評の奈何にあらうとも、其創造物として吾が藝術的生活の一象徴たる事に會心を禁じ得ないのである。

北米郊外の家　（其の四）

四十九頁より續く

其外優秀なる多年生の種類も多く是等も又五月に花壇に移植する。ラークスパー、フロックス、デクタムス、リリー、ウインドフラワー、ツフテドパンジイ、ヂギタリス等の種類である。

憂性薔薇の植付には又五月が非常に便利であり新種の美觀は他の及ばない價がある。然しながら薔薇は餘りの美しさに手を觸るものを見事に刺し開花期の後には不規則な性質に困する醜い骸を現はすのが不愉快である。優良なる種類としては。ヒアワサ、クロシルデサウバート、アメリカンピューテイ、スウイートハート、ドロシイパーキンスである。スウイートハート及びアメリカンピューテイを含む幾許かの新種は古今にも稀れな高雅な品性を供へてゐる。

次にハーデイバイレの植付けもこの五月早々に行ふより他に良い時は更にないのである。田舍家に適した優良種の中アクチニヂアは亭午は格子墻は遮はすときは最も良い結果を與へる。アリストロチアは透間のないスクリーンを作るのに最上のカヅラと言つても過言ではなく廣いそしてハート形の葉が重なり合つて生ひ茂つてゐる。ヴアーヂニヤクリーパー、クレマチスそれからヘンリー　ジャツクマニも良く後者は紫色の花を開きホップバイン、チアニースウイスタリア、ホールスハニイサックルも佳なるべく後者は或特殊の目的には優良なるカヅラで白花を豐富に開いて光澤ある綠葉は冬の終り頃迄も茂つてゐる。其他有名なるナスターチユーム、朝顏は一年生とし他はコピアスカンデンス、マトリモニバイインである。（六十六頁へ續く）

趣味化された室内装飾（下）

吉村美代子

次には支那情緒を現はしたもの――に就いて書きます。

〔三〕支那情調を現はしたもの

昔の漢學者抔には、自分の書齋に支那渡來の文房具を備へて、非常に得意がつてゐた人も多かつたと云ひますが、日本の客室に支那情調を漂はせることは、前號に述べたお座敷の例で見ますと、大して困難な事ではないやうです。

このお座敷の東北の隅には、いつでも高さ五尺前後の二枚折の屏風が建てられてあるのですが、この時もやはりそれがありました。そしてこの屏風には、有名な寒山寺にある唐の詩人張繼の「楓橋夜泊」即ち「月落烏啼霜滿天」の詩句を彫つた碑の石摺り二枚が貼られてありました。一枚は文徴明の書ですが、この方の碑石は既に百年の年月を過てある爲めに、一面に蝕み損じて文字等もわからなくなつてゐましたので、他の一枚の方の碑を建てかへたのださうでした、他の一枚といふのは明朝の學者で楡樾といふ人の書いたものであることはその石摺りの面に記るしてありました。

座敷の中央には、唐銅で出來た大きな鼎形の火鉢が出てゐました。之も素人の私にはよくわかりませんでしたが、そう大して金目のある貴重品とも見ゐませんでした。けれど、胴には柘榴だか、桃の實だかを、圖樣式に鑄出してあるのは、一見如何にも支那趣味を感じさせました。

いつやら見た加茂季鷹の横額は橋本關雪筆の墨書の「楓橋」と替つてゐました、この繪は關雪書伯

が曾て支那漫遊の際に寫生して來たものださうでしたが、少し小さ過ぎる憾みがありますから、私はその事を御主人に注意しますと、非常に悦んで「あなたは却々皮肉な見方をする」と云つて表裝を大きく爲直すと云つてゐました。

床には吳昌碩といふ支那人の描いた枯蓮の墨畫の幅が、お粗末な支那風の表裝で掲げられてあつたのみは、却つて此場合いゝ好みだと思はれました。吳昌碩といふ人は、上海に住んでゐる學者で畫家を兼ねた老人ださうで、畫家としては南北支那を通じての現代第一人者ださうですが、潤筆料は關雪畫伯に比して十分一にも足らなかつた、と御主人は大得意でございました。

床脇には羅漢松と牡丹とを活けてあるのが、支那氣分に溢れたこの室に、こつてりと重つたい、しかし如何にも調和のとれた氣品を添へてをりました。そしてその壺は支那の紹興酒の容れ物ださうで、傍に寄つてみますと、石炭を白ペンキで溶いて塗つたかと得ふやうな粗末なくすりの肌へ、唐草だか芋の蔓だか、何だか少しも判らないものをいろ〳〵の泥繪具でベタ〳〵亂暴に畫いたものですが、それが少し距離をおいて見ますと、實に豐麗な色彩と風雅な圖樣を現はしてみせます。約り之などは、支那の雜工が手抑れた筆でいきなり出まかせに書きなぐつたものに相違ありませんがそれが斯ういふ立派な効果を齎すのには驚かれました。獵遊ひ棚の上には、素晴らしく大きい、徑三尺もあらうかと思はれる圓形の懸け額に一尺五寸角位ゐの紙に六朝風の文字で「樂」といふ字を出した石摺りを挾んでありました。何でも之は有名な泰山の石の崖に隋の煬帝(?)が楞嚴經を刻したものを摺つたのださうですが、非常に面白くは感じられましたけれど、屏風の石摺りに對して少しく重複の嫌ひがありはせぬかと思ひました。それからこの懸額の下には、綠と黃と赤のくすりを用ひた獅子の置物・右の隅に古い胡弓と新しい叩き琴一之は御主人もその名を知りませんでした、支那の藝妓がよく用ふる樂器だといふと——左には赤く塗つた皮裝の文書、之は卷莨入れに代用してゐられるさうですが、小さい器物乍らに如何にも

支那情緒を漂はしてゐるものです。

棚の下方、即ち、板間の上には、高さ二尺四五寸の四枚折の屏風が擴げられてありました。この屏風の椽は、赤塗りで、中央が全部透しになつてゐますが、その少し上部に横にわたつて日本の寺院の欄間抔に見る透し彫り（八寸巾位ゐ）を嵌めてありました。圖樣は、葡萄をからんだ支那の人物と驢馬のやうなもので、委く金泥を塗つたもの、彫刻の手法は頗る粗雜な遣りつ放しなもので、老拙とでも云ひ得ませうか、決して幼稚なものではありません。出來は極て新らしい昨今のものらしいのですが、之も支那氣分を現はすには充分な功果を出してゐます。この透し彫りから五寸程をおいて下部は、竹で網代形（？）に荒く組んであつて他は全部空虛にぶち抜きになつてゐるもの。ですから、隨分こつてり物ながら、氣分は輕快な又風流なものだと思はせました。

この他には、床柱に支那芝居で用ふる馬の鞭が懸けてあり、前記の透し彫りの屏風の傍には缶（タイ）とかいふ樂器（？）がありました。しかし一體の氣持ちは、日本人趣味の支那裝飾で、支那情緒としては、まだ澤山出しやうがあるだらうと思ひます。慾を云へば、只、支那產の器物裝飾物を並べたと云ふだけでなく、今少し日本臭味を離れた純支那式の性格と云つたものが、一室の裡に生れないものかと思ひますが、それは望む方が無理かもしれません、丁度日本人の設計した洋館が何處までも日本人式であるやうに。

〔四〕 德川中葉時代を現はしたもの

座敷の眞中には、昔、大名や旗本家の書院にでも備へてあつたものらしい蔓盆、これは長さ一尺二三寸巾平たい四角な盆に、赤繪染付の灰吹が並び總體黑塗で葡萄の金蒔繪でした。若し之に長いラウ竹の煙管でも添へてあつたら、「今日御使者のお役目御大儀に存じまする、まづゆる〳〵と御一服」とでもお客樣に云ひたい處ですが、流石にその時代錯誤の長煙管はなくて、それに代つて卷蔓入が出てゐました。その蔓入れが御主人の好みで

蓋盆と同様に葡萄の金蒔繪なのです。

いつもの二枚折のある處には、それがなくて庭に面した方に簾をつるしてあり——時候は夏でした——前に黒塗の臺板を置いて、上に大きい五重塔形の香爐が置かれてありました。床には更紗表裝の師宣の筆だといふ（無落款の）振袖姿の艶な若衆の幅、床脇には二面の琴、油箪は、一面は白羽二重に金糸と赤と緑の糸で橘の縫模様、他の一面は黒い絹に金糸銀糸と色糸で藤の花に水の縫摸様——「是は、奥女中の襠裲の古い布れを利用したものです」と御主人は語つてゐました。曾つて私は、或るお宅で矢張り之に類した二面の琴油箪を見た事がありましたが、それは白と赤の鹽瀬で白の方へは赤で、赤の方へは白で、芦と蛇籠、浪に千鳥の縫模様を見た事がありました、無論是の方は新調したもので、立派でもあり、非常に大膽でもあつて、隨分印象的なものでしたが、しかし樂器が琴といふ如何にも日本人生活の傳統を踏んだものだけに、私は前記の方の奥女中の古い襠裲の布れを利用したのをずつと奥床しく浪漫的（ロマンチック）に感受しました。

例の違ひ棚の上部には、湖龍齋の「雪中美人」の細い木版畫の幅をかけてありまして、傍らに小さい青貝の書棚が備へてあり、源氏の湖月抄が載せてあるのを見ました。夏の季節だといふのに、雪の繪は一寸驚きましたが、しかし、こゝの御主人に云はせると「熱中の涼味」だす、斯ういふ裝飾に對する囚はれた眼の習慣を裏切るのも面白いじやありませんか」ださうでした。之には隨分反對の意見を有つてゐる人もあるかも知れませんが、一寸皮肉な面白い思ひ付きだと考へます。

眼と云へば、このお座敷で一番眼を新たにしたのは、違棚の下に置かれた金唐草模様のある蒔繪の耳盥（みゝたらい）に、いま、水を出たばかりかと思はれる牡若の花が、昔、時めいた大名の姫君が、重さうに引ぎづつた大振袖の色こそ、さこそと偲ばせる懐しみをたゝへて活けられてあつた事です。今斯うして紫のゆかりの色を添へたこの贅澤な金蒔繪の盥を、昔の奥女中達が朝夕に使つたものだと思ひますと、徳川中葉時代の爛熟した文明の姿が、次

々に浮んで來て私の心は妙に感傷的に惹き入れられて行くのでした。なほその他二三點を見たやうですが、今記憶を逸しました。

〔五〕武器に關するもの

私は餘り武器に對する智識がありませんので、見た丈けを書いておきます。

このお座敷に入らうとする右手の壁に倚せてまづ二本の薙刀と二本の槍を見ました。薙刀の內一本は、足利中葉時代の製作ださうです。槍のうち一本の大きい方は、肥後國の住人で胴田貫又八といふ鍛冶が打つたものださうで、この胴田貫又八といふ鍛冶が打つたものだそうで、此胴田貫といふ槍師は加藤清正の抱へ鍛冶だといふことでした。

お座敷の南の承塵（なげし）の額には「秋水寒」といふ三字が書かれてあります。東の承塵には、金鞘の大身の槍が横へられてありました。床には劍士柳生宗冬の歌の幅、左の隅に「丹波」と朱銘の入つた古い弓と、皮に金紋のついた矢筒と、鷹の羽の矢が數本、右には豹の尻鞘のかゝつた鐵金具の武骨な三尺程の太刀が逆さに立てかけてありました。なかごの銘は「備前長船住清光」裏銘「天正十二年八月」とあるさうです。

私は最初、この室に入るなり、一種の寒い壓迫を感じました。それ丈け非常に嚴肅な氣持ちなのです。室內の裝飾といふものが、どれ丈け人の心に感應するものかを思はずにはゐられません。私にはむしろ息苦しい程の堅い感じを持つものでしたし、餘りに難解なものが多かつたゝめ、後（あと）は抽象的に並べきゆきます。

で、いつもの床脇の違ひ棚には、鎌倉時代の武士と見ゐるのが出陣の髮を結はせてゐる横ものゝ古書、正面に金蒔繪の刀懸けに鞘巻の鞘、黑糸柄に土筆の金目抜の大小刀、大は古備前、小は南紀金國だといふこと。棚の下にはガラスの蓋のある長さ四尺位ゐの巾一尺位ゐの箱があつて、中には三振りの刀身（はきみ）が立てゝありました。見ると右は二尺二三寸許りで、銘は備前長船住與三左衞門尉祐定といふ長たらしい名乘り、中は一尺四五寸で正廣左は一尺七八寸で兼定とありました。この室中で

これ程私をおびやかせたものはありません。

例の二枚折の處には、銀表裝の宮本二天と、ビルマの王となつた山田長政の古書、前には朱塗の經櫃が置いてあつた上に、水牛の角のある雄壯な兜がのせてあつたのは亡くなつた先祖を見出すやうな懷しみを思はせました。經櫃の六本の脚の下には、一々刀の鍔を敷いてあつたのは少し煩はしいやうにも思ひましたが、細い心遣ひだと思ひます。要するに委く武器で飾られてあつたのですが私は之に對する智識がないので、皆目批評の出來ないのを遺憾とします。

此家の御主人の趣味は、斯うして多方面に根を張つてゐます。而もその人は私に向つて「所謂、無自覺の、働きのない骨董趣味は大嫌ひです。武器にせよ、他の裝飾にせよ、人の精神のこもつたものが好きなんです。例へば雜工でも無名の刀鍛冶でも、その人間一命の個性が、こくめいに刻まれてあるからこそ、そのものゝ價値があると思ひます。さういふ意味で、私の選ぶ裝飾品は、すべて値段は安つぽくても、貴い生命があると信ずるものです。金にまかせて、只意味のない貴重品を欲しがるといふのは、よく富豪抔に有り勝ちな墮趣味ですね」と語つてゐました。(完)

北米郊外の家 (其の五) 六十頁より續く

ツフテツドパンヂイはデイリリーの樣に春に開花しラークスパーも時には開花する。花壇植の最良種中にスナップドラゴンがある。普通一年生として栽培してゐる多年生のものである。開花の早さは屋内に於ける播種により保證されるのであるが五月に花園の廣いベットに播種するときは豐富に咲き亂れた花の美しさを賞する樂しみがある。

此花は幾分か影の個所に育つもので特に以上に強い花は霜が結ぶ頃までも開いてゐる。

五月の下旬は大部分のダーリヤを植付けする。此花は最近大いに流行してカクタス咲デコラチイーブ咲は特は艷麗であつてポンポン咲の數種は切花として最上のものである。ダーリヤは肥料を多く施す必要はないけれど土地は隈なく適當に準備し深さ六吋位の溝に球根を横に植付け二吋位の厚さに土を着せておく。殘りの溝はダーリヤが成長するに從つて埋めてゆくのである。

凡て此花は風通しを必要とするもの故其條作は三四呎の間隔を球根は各二呎半から三呎半の間隔を以て植付けする。

又各種のリリーもこの月に植付けられる。是等には砂地が適當なのだけれど往々植付けるべき穴の底へ細かい砂を敷いて欺滿しておくことがある。一般に八吋から十吋位迄の深植を規則とする。

室内で栽培せられた塊莖ベコニヤも此月の終らぬ中に花壇に植移する。是は全く蔭地で成長するのだけれども地質によること甚しく多孔質で肥沃なことが肝要である。

大福餅と運轉手の要求

ゐ　す　生

我が建築界も、歐洲大戰後著しく發展の途に向ひまして、近時諸先生方が先を爭ひ歐米各國へ御渡航遊ばされますのは、實に斯界の爲め慶賀の至りに禁へません。就きましては、吾等如き淺學且無資産の者の心は、焦れども如何とも致方なき羨しき思ひを致して居ます。併し、出來ぬながらも聊か向上心は有つて居ますので烏滸がましくも、此處に私の考へてゐる事を申し上る次第であります。當今御渡航の方は、我が建築界の大家にして、博學の方で有りますから、先方へ御出になりまして御見聞も高尚なることのみ御目に留まります樣に吾等の立場より見ますればソヲ思はれます。私共の要求は茲に有りますので、例へますと、御渡航なさいます皆樣は、常々風月堂や灘萬などの上等菓子を召し食りつけの御口故に、御歸りの際も先方の上等菓子の御土産が多く、悲しくも私共屋臺店の大福餅を味ひ居ります者には、食ひ付けません故頂戴致しましても其の眞價が判り兼ますので、寔に御恥しきことであります。今更何んとも致方なく、皆樣に我儘勝手な御願を致します次第で、不悪御宥を願ます。以後御渡航の方は、吾等の切なる心を御汲取り被下まして、私共の口に合ひます大福餅を少しばかり御持ち歸りを御願ひ致したいのであります。尤も、御厭いとて餘り澤山御持歸り被下ましては、私共下卑な人物故食傷いたしまして、却て御迷惑を御掛け申さぬともかぎりませぬ故、其點は宜敷御見計ひを願ます。

猶一つは、少し資本が入ります御願ですが、序に厚顏しくも申上ます、一寸例を自動車で申しますと。皆樣は、先方の車は非常に乘り心地が良かつた樣な御話を屢々承ります。私共運轉手におきましても、歐米に劣らぬ操縱振りを致度日夜苦心してをりますが、併し內地人の人力車でも、都會の俥夫は、田舍道は何んとなく挽き惡く又田舍の俥夫が都會へ參りますと、兎角往來の人が目ざわりになり駈け惡い樣なもので、歐米などの市街道路の完備せし場所と、我日本の如き、少し雨が降れば沼池の有樣且狹隘なる道路とは、比較になりませぬ。其儘にては乘心地の惡しきは當然と存ます。併しながら、私共運轉手にをきましても、改良の要點を見出せば相當乘心地よく操縱する自信かあります。夫れを見出すには、百聞一見に不如と申ます故、私共運轉手も、御一所に御供して參りまして、實地に先方の運轉操縱振を見ましたならば夫々會得しまして、日本に適する樣改良しますれば、餘には歐米の如くまいらずとも、幾分か乘り心地良くなります樣に存ます。當今の處では御乘車の御主人方が多くて、夫れに伴ふ運轉手が僅少の樣に思はれますが、凡て物事は兩立せざれば確たる發展は覺束無く思ひます。如何のものでせう?。私共運轉手の立場も篤と御考慮被下まして、是非御供の出來ます樣希望に耐へない次第でムいます。

蒙求俳句と詠史

蘆田秋双

蒙求は李翰が六經子以下百家の書から博く人物を選んで故事逸話を稽へ、其秀を輯めて音韻を布置し、之を四字句に題して五百九十六節に編んだもので、漢土では無論我國にでも洽く行はれて其流をくんだ模倣も尠からず現はれた。

是等は一種の逸話集のやうなもので、此蒙求的趣味の語文に上つたのは和歌では、「蒙求和歌」と「漢故事和歌集」のやうなものがある。蒙求和歌は例の蒙求から百五十箇の故事を抄出して、標題毎に四季、戀、雜の和歌を配して詠んだ集で、例へば漢皇龍顔に立春の題をあてゝ次の一首がある。

雨の下行末遠き春の色は

澤邊の德に現れにけり

漢故事和歌集は平原君王昭君蘇武屈原など三十二の漢土の故事を詠じた集で、例へば相如題柱といふ下に

沈みつゝ我が書付し言の葉は

雲井に上る階にぞ有りける

の一首を配してある。

之は歌の蒙求であるが、俳句のそれはどうであるかといふに、材料の舞臺が廣かつた丈、漢詩乃至は漢故事の句に現はれた事も多く、蒙求的趣味の津々たるものも又多くある、併しこういふ句ばかりを集めたものは割合に少くて、氷几の「和唐俳材」荷兮の「曠野」第六卷、それから蓮谷の「温故集」の一部分位なものであらう。

此内「俳材」のは寧ろ漢詩趣味で「曠野」のも亦さうで、時には西施、楊貴妃、或は一休、法然などを題に置いたのもある。「温故集」に至ては悉く詠史的で人物が皆我國の者である。是等の集から其

二三を示してみやう。

李　夫　人

陽炎の抱つけば我衣かな　越　人

楊　貴　妃

春風に帶ゆるみたる寢顏かな　同

藤　房

郭公啼止む時を知りにけり　一　井

一　休

色々の形をかしや月の雲　長　虹

七　騎　落

昔いつ武者六七騎門の雪　沽　德

然し是等を以て直に蒙求的俳句とするのは早過ぎる、我がいふ蒙求的とは、正史若くは野史の人物が、或は少くとも一事迹の演ぜられた場所の名が句中に詠まれねばならぬ、而も其詩興の捉へ方には是非共ユーモアを帶んで其發表の格調には飽く迄蒙求の瓢逸がなければならぬ。

張良も土橋のもとの月見哉　秀　川

玉霰漂母が鍋をみだれ打つ　蕪　村

今年米西施が胸に痞へけり　几　董

早鮓に王思は飯をあふきけり　召　波

揚虎そと取違へたる頭巾かな　同

或は是等を以て俳句のエピックとして詠史であるといふ人もあるかもしれぬが、詠史なれば事實を事實として現はさねばならぬ、右の中第一と第二句は稍や其傾向があるが、然し張良の月見、漂母の霰など格段の史事實となつて居らぬ限りは嚴密なる意味に於ての詠史とはし難い。第三句以下は全く事實を離れて單に俳味をあしらふ手段として史上の人をかりたに過ぎぬ。一句の意味は必しも西施なり、王思なり、將た揚虎なりを詠じたのでない。こゝが所謂古俳人の空言の一つで、句に載せられたる固有名詞以外に縹緲たる風韻の或るものが動いて居る、此あるものは即ち蒙求趣味で其詠史と區別する點も亦之に存して居る。

蒙求的俳句に(一)人名(二)地名(三)事實との三種がある、夫から此各々に漢と和との二類がある、先づ人名を配した句から上げてみやう。

御出入の李白を捜す新丹哉　召　波

醉李白師走の市に見たりけり　几　董

伯樂か鍼に血を見る冬野かな　召波
初氷許由此朝掬すれば　同　月成
樊噲も大門口の月見かな　同
陳平もさんや船にて月見かな　同
韓信も九段の上で月見かな　同
漢王も高祖頭巾で月見かな　同

此等は皆漢王の人物で韓信。張良。李白。などは最も多く使はれた。月成の四句は先きに掲げた秀川の句から出たので。何れも夫れ〳〵其個性が表はれてゐる。次に我朝の人物を配したものには。

花の幕傘好を覗く女あり　蕪村
春雨や網が袂に小提灯　同
隠れ住て花に眞田が謡かな　同
雪信が蠅打ち拂ふ硯かな　同
秋寒し藤太が鏑ひゝくとき　同
宗鑑に蔦水たまふ大臣かな　同
丈山の口が過ぎたり夕涼み　同
鬼貫や新酒の中の貧に處す　同
仁齊の炬燵に袴冬こもり　召波
雪隠に信玄おはす蚊遣かな　同
守武の水涕おとす火桶かな　凡董
貫之が船の灯による千鳥かな　同
熊坂の長刀あぶる霜夜かな　湖十
盛任がしやツ面たゝく霰かな　一茶
夏の夜を吉次が冠者に恨みかな　其角
落栗や網公時が笈の上　山夕
網が立てつなが噂の霜夜かな　其角
佐々木より梶原遅し郭公　專吟

次に地名或は場所を表はしたるものも、つまりは史に現れたる地所であるから、要するに之を人物の部に還元することが出來る。例へば

螢火は百がものゝあり滑川　宗因

は滑川の純客觀詩でない。其うしろにある青砥の故事に因んだ蒙求的句で此地名は次の句の人名と規を一にして居る。

錢龜や青砥も知らぬ山清水　蕪村
水底に青砥が錢や今朝の秋　召波

景等地名の蒙求句としては他には

大根はや伊豆の白旗十三夜　貞佐
長刀の五條も涼し橋の月　支考

等我國土のものであるが漢土のものには

顔見せや曉勇む下郵の橋　晋　子

指南車を胡地に引去る霞哉　蕪　村

次は人名も地名も用ゐず一箇の史事實又はヒストリカルターム若くは時代物の語を配して作句したもので其漢に屬する句は

畑打や法三章の札のもと　蕪　村

和に屬する句は

雨乞に曇る國司が涙かな　蕪　村

の類である、斯く揭げ來つて蒙求的句の天明俳人に多いのを注意せねばならぬ。右に擧げた內には或は詠史と見て差支が無いのもあらうが、吾人は之を史的に解しないで蒙求的に解したいのである勿論此俳趣味の由來する所頗る史的事實（或は傳說）に俟つもの多きは云ふ迄もないが、是等を誦して吾人の禁ずる感興は史其物でなくてローマンチック（かくいひ得べくば）の點である。

然らば詠史とは如何、之は次に起る問題である

西詩に於けるエピックを俳句の上に云爲するは思もよらぬとで之は論外である。漢詩の樂府を國詩の三十一文字に探らうとすると又見當違な事である。和歌の詠史は美辭學の所謂メタフォルを巧に使ふた詞藻で、和歌よりも短い詩形の十七文字は更に此メタフォルを一層も二層も微妙にした所に妙味を持たせて居る、尤も時には

梅が香に更くゆく笛や御曹子　舊　德

郭公工藤が狩屋寢入りけり　鐵　骨

石寒し四十七士が霜柱　几　董

などメタフォルに依らぬものもあるが是等は寧る蒙求的に屬すべき方である、詠史としての句は

明月の出るや五十三ケ條　芭　蕉

の貞永式目に於ける

佗殿に文覺緩を進めけり　召　波

の伊豆擧兵に於ける

未來記は根にたのもしき蕪哉　貞　佐

の正成天王寺に於ける

木の下に皆打死の椿かな　桂　琳

の待賢門夜軍に於ける、皆メタフォル式の詠史と見ることが出來る、このやうにメタフォルを使ふのは短言に長意を運ばす手段ではあるが、俳句に四

季の季物をあしらふといふ原則から出づる自然の結果でもある、それで此流の詠史句は句中に史人物か、史事項かゞ若しあらはれ無い時には全く獨立して史でも野乘でもない普通の句となつてしまう、右に揭げたのは表面上からも其史に因むとは明であるが

撫子にかゝる涙や楠の露　芭蕉

の如きこれ丈を見ては主觀を交じへた夏の句である、而もこれを楠公櫻井驛の史事に配するは全くメタフォルの致す所である、併し之にはまだ楠といふ字が兩樣に通じて居るが

熊蜂にさし殺さるゝ燕かな　瓢斗

の實朝公曉に於けるに至つては「前書き」を除いて誰か之を詠史と解する者があらうか、かく史を離れて獨立し得べき所から蓮谷は句を先にして之に相應する史題を後から配當した、次にあるは其一部でメタフォル式の詠史句が如何に變通力を有つかを知るに足るであらう。

巴の勇力

鐵棒でたゝき碎くや斗り炭　正秀

義仲流矢に中る

田の面に射て落しけり天津雁　堤亭

辨慶衣川討死

雞頭は立往生の十夜かな　乙由

曾我五郎生捕らる

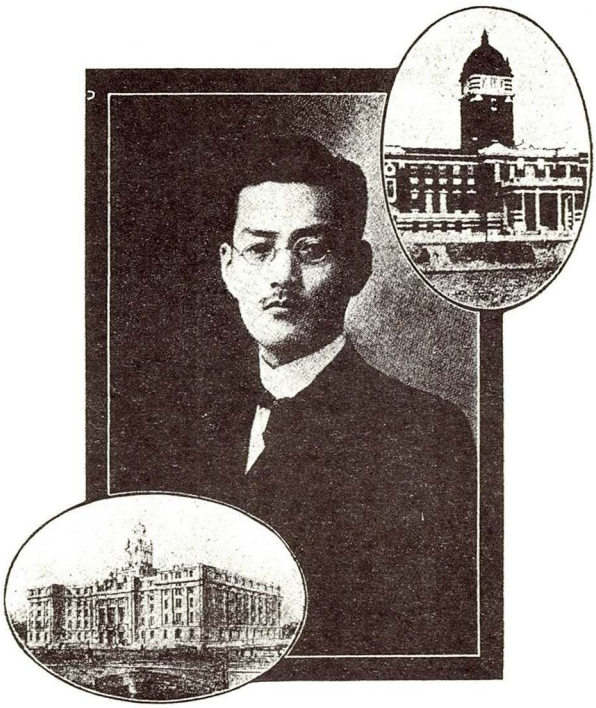
蟻共に引出さるゝ小蝶かな　白雲

千早城の寄手

明方や城を取まく鴨の聲　許六

平家舟中賞月

具足着た顏のみ多し月見舟　野水



大正十年四月二日日本建築協會々員工學士牛村喜勇氏逝く、宿痾竟に氏を奪ふなきかの憂思を抱きつゝも、氏の爲、低迷の濛氣一去して熙陽再びするなきかを切に期せる今、吊憶の辭を羅れて、氏に永へなる惜別の餞贈と成る、痛哀焉ぞ耐へむ。茲に、氏の小傳を叙し併せて、氏の最後の大作を揚げ、恭く惜悼の赤思を捧ぐ。

明治四十三年東京帝大學建築科卒業
仝年七月司法省技師に拜命
仝年八月大阪控訴院建築場勤務
大正六年一月神戸留置監建築場勤務
仝年六月大阪市役所技師拜命
大正十年四月二日逝去



相談室

本欄は一般に開放してあるのですからの會員なると否と讀者なると然らざるとを問はず御利用被下さい

△表紙書　二月以來の表紙の趣向に付實際引つけられました之れは誠に面白いが一層の希望としてはこの圖の張り付面に當る表紙の餘白に張り付圖に對する詩的解說をつけられたならば尙ほ良くこの圖に親しみをもち且又益する所大でなからうかと存じますが如何でしよう―希望者(答)ソウすればよいのですが其貼付書は往々脫落して失ひ易いとの苦情がありますから本號より全部貼り付ける事に致しました但し餘白へ努めて御希望に伴ふような說明を付けましよう　**△會員**　私は建築技術に就ては門外漢ですが御會に入會致しますには建築家でなければいかないように承つて居りますが然るに御誌を拜見致しますと單に建築技術といふだけでなく都市研究の色彩もある、ようですが就ては都市研究に自信と興味を有つてゐる者をも入會を許して頂き度い―一市隱(答)勿論建築技術が本會の唯一な目的ではありません何人でも建築に趣味を有してゐられる方であらば普通贊助員として申込が出來るようになつて居ります　**△爭議**　私は或請負業者と建築物に就て一つの係爭事件がありますので其建物に對し技術上の方面から是非御會の御審査を願ひ致いのですが御引受け被下さいましようか誌上にてお答へを願ひます名譽贊助員の一人(答)單に是れ丈けの事では何ともお答へ致兼ます兎も角御越しになつて其詳細を御申出になり度し　**△法規**　今回住宅組合法と今一つ住宅に關する法律案が先日の議會に出たと思ひますが一體アレはどうなりましたり會員の一人(答)住宅組合法案は審議既に確定しましたが今一つの法律案とは―多分「借家法」の事でしようそれならば既に去る四月七日法律第五十號で發布になりました但し施行期日指定及施行區域は勅令に讓つてありますがまだ其勅令は出ませぬ序ながら是に關聯する處の「借地法」も仝日改法律四十九號で發布になつて居ります

が是も地區と施行期日の指定は勅令に讓つてまだ出ませぬ　**△博覽會**　御會の建築博覽會は何時頃開かれるのですか(答)大正十一年九月から十月に掛けて開く豫定になつて居ります　**△建築用品**　私は建築用の或金物に就て新考案なものを拵へましたのですが其見本を御會に寄贈致度と思ふて居ります受けて被下るでしようか一會員(答)折角サンプルボックスを調製中ですからどうぞ御寄贈を願ひます　**△新築**　或る小さい工場と寄宿舍を建て度いのですが御會より然るべき向へ其設計の御紹介を願ひ度い―局外生(答)設計家の御名前杯をお知らせする事は欣むで貴意に應じますが特に本會から選定して依頼の紹介は出來難うございます悪しからず　**△度器の改正**　日本尺をメートルシステムにして了ふとの事ですが建築家としての關係は如何でしよう―一會員(答)それはまだ審議中で實際は却々ソウ容易でありますまい併し實施された處で設計上の關係は何によつて計算しようと自由です、只尺度を公けに用ゆる場合にのみソウなるのだと思ひます。



時報

都市計畫

◎六大阪都市計畫區域

大阪都市計畫區域は既に內務省に於ける第一次の審議を經關係市町村に對して諮問を爲し利害の答申を求むることゝなりたるが該區域は昨年中大阪府都市計畫課にて調査計畫して內務省に提出したる原案其儘のものにして毫も修正されたる點なく當時屢報道したるが如く大阪、堺兩市と七十二箇町村を含み北は豐能郡豐中に及び南は堺市を經て泉北郡舳松村に到り面積一一〇、七〇平方哩、南北最長二十哩、東西最長十四哩にして現在大阪市の二二、五七平方哩に比し五倍の擴張なるが本案に對しては關係各町村の諮問答申を二三箇月中に大阪府知事に於て取纒め之を內務省に報告し內務省は更に之に對して第二次の審議を爲し若し修正の必要あらば修正意見を附して初めて都市計畫大阪地方委員會に諮問提案せらるゝことゝなるべきものにして而も委員會の答申に對しても內務大臣の裁決を經ざるべからざる次第なれば區域の確定は未だ容易のことにあらず區域案審議の地方委員會も七八月の交なるべしと右に就き府當局者は語る

都市計畫の區域案は是迄屢新聞に報道されたる通りで府の原案が其儘內務省から關係市町村に諮問されることゝなつたやうである府の案では昨年十月第一期に於て南は大和川迄を範圍としたが濱寺は公園として市と關係最も深く且つ堺市も都市計畫をやるなら此際同時に行ふことを便利とする關係上昨年十二月濱寺及堺市を追加した北は第一期案では豐能郡の一部迄であつたが住宅地が少ないから郊外住宅候補地として第二期案に豐中を追加した更に本年二月第三期案として道路改修の關係から泉北郡舳松、神石兩村を新たに追加することゝした右原案通りで內務省の第一次審議が終了したらしく確定までには尙長時日を要し固より變更が加へらるゝかも知れぬ

◎新都市計畫指定地

都市計畫は現在東京、京都、大阪、名古屋橫濱、神戶の六大都市にのみ適用せられ既に着々計畫の步を進めつゝあるが其他の都

市に於ても時代の進運に伴はんが爲め夫々事情を具し主務官廳に希望し來るもの甚だ多く約三十市に達したる由にて主なるものは

金澤、廣島、長崎、岡山、下關、門司、福岡、八幡、若松（九州）、大牟田、新潟札幌、小樽

等の諸市なるが內務省としては成るべく之等の要求を認容する方針を執ることゝしたるも只無制限に適用を許さず相當の條件を必要とし先づ以て

一、人口及び其增加歩合　二、其進歩、附近町村の面積　三、交通の狀態　四、産業狀態　五、財政狀態

を十分調査の上必要條件を具備するものと認めたる場合には直ちに關係府縣知事の意見を徵すると同時に內務省に於ても審議を重ねたる上何分の決定をなすことにし取敢ず關係府縣に對し右項目照會中にて何れ近く招集さるべき地方長官會議に對し參考として出つべしと云ふ右に付き出縣都市計畫課長は曰く

計畫法の趣旨によるも之れを强制的に行はしむるは當を失するの嫌ひあり當局は單に希望する市のみに對して十分調査の上法の適用をなさしめんとするものなり而して六大都市は國庫より補助をなすや否やは全く未定に屬するも大體に於て財政關係上之れをなす能はざるものゝ如し故に希望しつゝある市及び其關係府縣の財政狀態は特に綿密なる調査をなすの必要あるべく今回東京其他各方面の火災頻出に鑑み直ちに實施し得ざるも豫め計畫を定め其歩を進むるも亦一良法なりと信ず云々

◎都市計畫費財源

大阪市の都市計畫財源は一億三千九百八十五萬圓で其內譯は募債額が七千五百七十六萬圓國庫補助額三千八百八十萬圓特別負擔額千五百五十三萬圓河岸地使用料七萬圓市稅其他九百六十九萬圓の豫定なりしが年度內要求の國庫補助額通行稅の交付並に土地增價稅間地稅に關する勅令の發布に就て政府が大阪市の希望を容認せざる故に豫算に大なる狂ひを生ぜり即ち其不足額は土地增價稅十六萬圓間地稅五萬圓特別負擔（但し路面舖裝飾費の特別割即ち間口割面積各四分の一弱道路より二十間迄徵收なし得らるゝ許可を得たりしが路面新設擴張費の分は不認可となつて未だ成案なしとの事なる故）此分三十六萬圓遊興稅三十三萬圓觀覽稅十七萬圓計百七萬圓の不足を告ぐる故大阪市としては都市計畫法に規定の特別稅を徵するより外策なき爲め其方針でなるが特別稅としては既に徵せる課率百分の十二半の地租割額十七萬圓並に國稅課率百分の十七の營業稅割百七萬五千圓課率十分の四の府稅營業稅割五萬四千圓課率十分の四の府稅雜種稅割三十一萬五千圓課率十分の四の府稅家屋稅割四十一萬五千圓合計二百二萬八千圓を得られるより事業費年度割に於て何等の痛痒を感ぜざると

◎高速度交通機關

大阪市に設置する高速度交通機關特別委員會は四月一日午後五時東京丸の內帝國鐵道協會內に開かれたり、大阪市より交通調査の結果表を携へて出席せり清水電鐵部技師長は同表に就て大阪市の交通狀態を詳細に

説明し協議の結果大體の成案を得るに至れり、引續き二日も開會して具體案を纏め五月早々土木學會及び鐵道協會で組織されある委員會の總會を開く事となれり、特別委員は發表までは固く秘密を嚴守してゐるが清水技師長は曰く「總會が濟だら吹めて實地踏査をする事にした、斯くして初めて決定を見るのでそれ迄は全く完全な具體案はない譯である、哩の延長や設計の樣子も其の上で決定するのだからお話も出來ない、此の設計は地下線と高架線を併用されるが地下線は經費が高くなる關係から高架線を多くする結果になるであらう、將來の計畫として住宅地から通ふ市民の爲に新計畫の高進度交通機關を用意せねばならぬと思つてゐる、經營方針も計畫實施上の一大暗礁だが市當局の意嚮は市債を募集しても市營にしたい」と

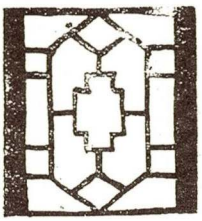
都市施設

◉大阪美術館内容

大阪市が經費百萬圓を投じて建設せんとする美術館に就ては豫て懸賞募集中なりし新築設計圖案を去る一月三十一日を以て締切り爾來一等當選圖案に依り市營繕課に於て設計圖を作製中なるが一方美術品の在品調査は同館設備内容の細案調製の基礎となるを以て九月目下夫れ〴〵關係者に委囑し國寶目錄並に近府縣社寺寶物目錄等の謄寫を爲すと共に參考書類の蒐集並に美術品の實地踏査に從事し陳列品の類別其の陳列法及び蒐集法等館内の設備等其調査の歩を進めんとしつゝあるが今回制定したる同館の規則案に依れば、本館は陳列部、圖書部、講演部、研究部等に分ち陳列部は繪畫彫刻建築美術工藝筆蹟等の各美術品を蒐集保存して觀覽せしめ又圖書部は美術に關する圖書を蒐集保存し講演部は美術に關する講演及講習を行ひ研究部は美術に關する研究調査質疑、應答、編纂出版等をなし公衆の美意研究に資する施設を爲す筈にて本館の觀覽料は普通入人十錢小人五錢團體（五十名以上）一人に付三錢となすべしと

◉庶民病院計畫進捗

大阪府方面委員創設の救療機關として庶民病院のに建設就ては其後府社會課にて之が實現に努力し居れるが此の企畫の傳へらるゝや市内醫師中には自己の營業に打撃甚からずとして之が設置に反對し種種の運動を試むる者もある模樣なるが府としては社會政策的立場より多少の障碍を排しても實理せしむべく着々準備中にて計畫は具體化しつゝあり差當り敷地としては近く他に移轉すべき難波病院跡を之に充つべく病院建設費は約百萬圓を要する見込にて之が資金は濟生會方面より貸出すべく大體諒解を得居る模樣にて可なり大規模の設備をなすを得べしされば實現の上は濟生會の病院を統一し市内窮民の救療を爲すと同時に中流級階の實費診療を行ひ此の收入を以て維持費の大部分に充當する方針なりと



會報

會合

○理事會

△日時　三月二十二日午後六時—八時
△會場　本會事務所
△出席　波江、松本、吉木、瀬戸　吉井、西谷（書記）
△記事
一、本會事務所ニ書籍並建築材料見本等陳列ノタメ陳列棚ヲ購入スルコトニ可決ス
一、會員滯納者除名處分ニ關スル件ニ付協議ノ結果會費滯納三ケ月ニ渉ルトキハ赤紙包裝ヲ以テ注意ヲ促シ尚納付ナキ場合ハ三ケ月後雜誌發送中止ノ上紹介者ニ注意シ尚三ケ月後除名處分トナスコトニ決ス
一、四月十一日午後五時北區梅田靜觀樓ニ於テ春季大會開催ノコトヲ可決セリ
一、丸木屋吳服店ニ關スル調査事項ニ付協議ヲ重ヌタリ

○理事會

△日時　四月六日午後五時—八時
△會場　本會事務所
△出席　瀨戸、波江、小笠原、吉井、吉木、西谷（書記）
△記事
一、住宅改造博覽會懸賞募集ニ付具體的案件ヲ作成シ懸賞委員會ニ附託スルコトニ決セリ
一、春季大會準備ニ付協議ヲ重ヌタリ

○春季大會

△日時　大正十年四月十一日午後五時—十時
△會場　北區梅田町靜觀樓
△出席者　山口房五郎氏、柿崎欽吾氏、池田勘藏氏、糸崎周一氏、岩尾保衛氏、池村元之助氏、伊藤卯之助氏、（代）橋本料左衛門氏、原科準平氏、新海正綱氏、布袋惣平氏、土居原龜之助氏、近澤武男氏、大原忠隆氏、大林賢四郎氏、小川安一郎氏、川島甚兵衛氏、上瀧辨吉氏、川崎源熊氏、片山萬治氏、河合作次郎氏、片山菊治郎氏、呼子正氏、吉田清氏、田中讓氏（代）、辰巳吉之助氏、高堂德治氏、谷民藏氏、原田金次郎氏（代）、谷口廉兒氏、中川辰藏氏、長瀨兵馬氏、長尾繁治氏、中西甚作氏、中川廣氏、中澤誠一郎氏、村井季

四郎氏、龍村知二氏、熊取谷熊治郎氏、久保田小三郎氏、久保田繁亮氏、山本辰五郎氏、山本直氏、松尾和助氏　藤村愛資氏、船山力雄氏、藤井庄作氏、湯淺忠三郎氏、駒井喜兵衛氏、小松靜氏、小谷豊吉氏、有山福重郎氏、佐藤彰美氏、木村梅次郎氏、湯淺乙吉氏、光安梶之助氏、島田貫馨氏、東松孝時氏、平井貞吉氏、森下新造氏、森篤次郎氏、鏡高善造氏（代）、須賀豊治郎氏、菅谷元治氏、鈴木甫氏、片岡安氏、波江悌夫氏、瀨戸文吾氏、小笠原釣氏、吉井長七氏、池田實氏、吉木久吉氏、松本禹象氏

△記事

一、本會ハ創立以來既ニ四星霜ヲ經會員贊助員ヲ合シテ七百名ニ垂ントシ漸ク堅實ナル地歩ヲ占メ來リテ益將來ノ發展ヲ遂ケンタメ各種ノ畫策ヲ講ジツヽアリ茲ニ會則ニ依ル春季大會ヲ開キテ會員ノ親睦ヲ圖リ兼テ會員天沼俊一氏ノ渡歐送別ノ宴ヲ張ラントス

一、天沼氏ハ歷史學專攻ノ目的ヲ以テ渡歐研究ノ途ニ上ラルヽ由ナルガ乘船出發ノ都合上竟ニ本夕欠席ノ止ムナカリシハ遺憾ニ禁ヘズ

一、六時宴會ヲ開ク、副會頭片岡氏立チテ一場ノ挨拶アリ、特ニ名譽贊助員柿崎欽吾氏、山口房五郎氏ノ參會セラレタルハ本會ノ光榮トスル處ナリト述ベラル

一、宴酣ニシテ柿崎氏ノ挨拶アリ又住宅經營ノ實際ニ關シテ一場ノ所感ヲ述ベラル獻酬交歡快談縱橫各自歡ヲ盡シテ十時散會ス

一、當夜數番ノ手品餘興アリ又北陽名妓ノ淨瑠璃「堀川」ノ語物アリ一同大ニ滿足ス幹事ノ骨折ヲ多トス

○臨時理事會

△日時　四月廿日午後一時ー二時
△會場　本會事務所
△出席　吉木、松本、波江
△記事

一、丸本屋吳服店ノ事項ニツキ協議スル所アリタリ

△日時　四月二十一日午後五時ー八時
△會場　本會事務所
△出席　波江、瀨戸、松本、池田、西谷（書記）
△記事

一、建築材料調査會ヘ金壹百圓寄附スルコトニ可決ス

一、木材及煉瓦規格統一案ニ付協議並同案ニ關スル橫河博士ノ說明ヲ聽講ノタメ四月二十八日午後六時本會事務所ニ於テ臨時例會ヲ開催ノコトニ決ス

○住宅改造博覽會懸賞委員會（第一回）

△日時　四月二十一日午後六時ー八時
△會場　本會事務所
△出席　宗兵藏氏、鈴木甫氏、置塩章氏、內藤太郎氏、久保田繁亮氏、野村一郎氏、池田理事、西谷（書記）
△記事

一、中產階級向市街地住宅ニ付構造其他各種條件等協議セリ

○理事會

會務

○新入會員

（會員）

森本藤吉氏、白川雄一氏、阪口芳三郎氏
藤澤安太郎氏

（普通賛助員）

寺西政一郎氏、三宅政吉氏、山口辰治氏
田中數雄氏

○會員消息

會員天沼俊一氏は建築歴史學專攻のため四月十三日横濱發渡歐の途に上られたり

○住所移轉

矢島一雄氏　東京市麻布區笄町二七
松本永太郎氏　滋賀縣內務部土木課分室
佐田佐太郎氏　長崎縣北松浦郡平戸町郡役所
稻富秋吉氏　福岡縣若松市老松町津田病院
櫻藤要吉氏　東京府下瀧の川中里三五〇
成清卯三氏　東京府下淀橋町角筈六九五
武田五一氏　京都市千本丸太町西入南
齋藤又吉氏　東京府北豐島郡瀧之川町田端九一三
兒玉廣太郎氏　大阪市東區清水谷西町五八五
根岸元治氏　福岡市上吳服町山口銀行建築場竹中工務店出張所
眞邊芳之氏　朝鮮平壤大同江面航空隊建設事務所
山田靜氏　大阪市外天王寺村天王寺二〇一七ノ七大阪府官舍四號
松久保敬三氏　朝鮮京城黃金町二日本生命保險會社
井上謙吉氏　大阪市西區鶴町三第四區五二號
戶山音次郎氏　大阪市外今宮町字四條ケ辻四七二
倉崎太三郎氏　德島縣小松島町三條通り山本組出張所
佐野房二郎氏　京都市上京區武者小路通室町西へ入四二九
片岡長參氏　富山市梅澤町富山市立工業學校
天沼俊一氏　留守宅東京市芝區車町四七
宮飼克二氏　神戶市下山手通六設樂建築工務所
山口榮作氏　大阪府東成郡墨江村大字上住吉

○會員死亡

會員牛村喜勇氏は病氣の處四月二日永眠せられたり

○寄贈圖書

電氣學會雜誌三號及四號　電氣學會
土木建築　三號　土木建築社
建築業協會々報　三號　建築業協會
日本ペイント商報　第八號　日本ペイント會社
滿洲建築協會雜誌　初號　滿洲建築協會
農家の友　四號　農家の友社
建築雜誌　三號　建築學會
工業の友　四號　工手學校內其社
新住宅　四號　洪洋社
材木新聞　六六一號迄　材木新聞社
會誌　二八號　大阪工業會
建築世界　四號　建築世界社
平民建築　四號　帝國工業教育會
都市公論　四號　都市研究會
國民經濟雜誌　四號　神戶高等商業學校
關西建築材料商報　一七三號　其社
建築と新材料　三號　建築と新材料社
通俗衛生　三號　大阪府衛生會
住宅　四號　住宅良改會

役員及職員

副會頭　片岡安

理事　葛野壯一郎（理事長）

理事　波江悌夫（主記）

理事　瀨戸文吾（主計）

理事　横濱勉（編輯）

理事　小笠原錤（編輯）

理事　吉井長七（編輯）

理事　池田實

理事　吉木久吉

理事　松本禹象

理事　平井三郎

編輯補　佐藤四郎

江村郊邨

書記　西谷節

武波泰

山崎萬壽天

會員	二〇四	會員（地方）	七〇
名譽贊助員	七〇	終身贊助員	五〇
特別贊助員	一五	普通贊助員	三三二
合計（四月廿五日現在）	七四一		

本誌及廣告料定價表

本誌	冊數	定價	郵稅
	一冊	金五拾錢	貳錢
	十二冊	六圓	貳拾四錢

廣告料	種別	金額
	半頁	八圓
	一頁	拾五圓

特別頁ヲ料金一定シアリ御照會アリ度シ

大正十年四月二十八日印刷（毎月壹回）
大正十年五月一日發行（一日發行）

大阪市外中津町下三番一九八番地ノ一

發行兼編輯人　江村恒一

兼印刷人

大阪市東區內淡路町一丁目卅一番地

印刷所　大阪活版所

大阪市西區京町堀上通一丁目不動ビルデイング內

發行所　日本建築協會

電話土佐堀四、二九三番
振替口座大阪三九、九七五

大阪市西區京町堀羽子板橋北

特約販賣店　柳々堂書店

電話（土佐堀二四四〇番）
振替口座二〇八四番

●第四集　第五号　掲載広告一覧（掲載順）

浅海商店
池田稔事務所
出浦建築事務所
新海工務所
渡辺建築事務所
葛野建築事務所
片岡建築事務所
横河工務所
宗建築事務所
国枝工務所
舟橋建築事務所
柳下建築事務所
真水工務所
真水三橋建築事務所
遠藤於菟
設楽建築工務所
木子建築事務所

茂、野村建築事務所
池田勘蔵
日本土木大阪出張所
原科工務所
橋本料左衛門商店
大林組
中川辰蔵
竹中工務店
長瀬兵馬
上瀧組
熊取谷熊次郎
野村亥之助
久保田組
山縣組
松井工務店
山本組
松村組

鴻池組
小西組
藤木正一
駒井喜兵衛
安藤組大阪出張所
有山福重郎
木村組
清水組大阪支店
茂、野村建築事務所東京出張所
片岡松井建築事務所
清水工務店
森下新造
銭高組
日本木材工芸
久原鉱業大阪出張所
山田大理石製作所
矢橋商店

吉田鹿之助本店
高田商会
ホーン
須賀商会
日本電飾
内外土木建築材料
栄進社
松尾和助本店
山本窯業商店
萩原煖房工務所
新田ベニヤ製造所
南満鉱業
砂崎
村井工業所
河村青写真調製所
山本コンベス商会
大野正営業所
野沢幸三郎商店
日本石綿盤製造

東京建鉄
有田製陶所
宇野沢組ステインド硝子製作所
工学書院
銀座建築用品店
共同建材製作所
明正社
コルク工業
東京電気
鈴木製作所
大阪煖房商会
大阪電気商会
川崎工場
北木島石材大阪出張所
高田商会銀座販売店
サクラ工業所
岩倉正商店
ホーン
浅野スレート大阪出張所

淡陶
東洋工業品製作所
吉田鉄工所
横河橋梁製作所
和井田商事
極東硝子工業